ほぼ全自動
作曲支太郎

取り扱い説明書

シリアルナンバー

DE-290

※シリアルナンバーを再発行することはできません。
シリアルナンバーはアップデートファイルをダウンロードする際や
ユーザー登録をする際などに必要となります。

ユーザー登録はこちら
http://www.de-net.com/user

製品ご利用前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。

目次

動作環境・ご注意＿＿＿2

インストール・アンインストール方法＿＿＿3〜6

起動方法＿＿＿7

曲を作成・保存する
　1から曲を作成して、保存する＿＿＿8〜25
　自動作曲機能をつかって、曲を作成、保存する＿＿＿26〜34

その他の機能・操作説明
　小節の削除＿＿＿35
　メロディーのコピーと貼り付け＿＿＿36〜37
　自動コードを設定する＿＿＿38〜39
　サンプルコード進行をつかって、曲を作る＿＿＿40〜41
　各小節ごとに音色を設定する＿＿＿42〜43
　各小節ごとに音量を設定する＿＿＿44
　各小節ごとにベースパターンを設定する＿＿＿45〜46
　各小節ごとにドラムパターンを設定する＿＿＿47〜48
　曲全体のアルペジオパターンを設定する＿＿＿49
　各小節ごとにアルペジオパターンを設定する＿＿＿50〜51
　ステレオの調節で曲全体の音の出る方向を設定する＿＿＿52
　ステレオの調節で各小節の音の出る方向を設定する＿＿＿53
　ドラムパターンを編集する＿＿＿54〜57
　パワードラムを設定する＿＿＿58
　パワードラムをデータとして保存する＿＿＿59〜61
　パワーベースを設定する＿＿＿62
　パワーベースをデータとして保存する＿＿＿63〜65
　歌詞を音符に1つずつ設定する＿＿＿66
　クリスタルコードを作成する＿＿＿67〜71
　楽器チャンネルを設定する＿＿＿72〜74
　連続した小節の音色をまとめて変更する＿＿＿75〜76
　コードを作成する＿＿＿77〜78
　楽譜を画像として保存する＿＿＿79
　作成、保存した曲のデータを開く＿＿＿80
　三連符を作成する＿＿＿81〜83

ソフトウェアをダウンロードする＿＿＿84〜86

ユーザーサポート＿＿＿裏表紙

動作環境・ご注意

動作環境

対応 PC	メーカーサポートを受けられる Windows パソコン
OS	Windows 7 / Vista / XP　※Mac には対応しておりません。 ※日本語版 OS の 32 ビット版専用ソフトです。Windows 7 64 ビットでは、WOW64(32 ビット互換モード) で動作します。 OS が正常に動作している環境でお使いください。 対応 OS の動作環境を満たした環境でのご利用が前提となります。 Server OS には対応しておりません。管理者権限を持ったユーザーでお使いください。 マイクロソフトのサポート期間が終了している OS での動作は保証いたしません。
サービスパック	最新のサービスパック及びアップデートがされている環境でお使いください。
CPU	1.0GHz Pentium または同等クラスのプロセッサー以上
メモリ	512MB 必須 1GB 以上推奨（Windows7、Vista の場合は 1GB 必須）
ディスプレイ	1280×1024 以上の解像度で色深度 32bit True Color 以上の表示をサポートしている環境
CD-ROM	倍速以上
ハードディスク	100MB 以上の空き容量 (インストール時) ※これ以外にシステムドライブ上に変換作業用の空き容量やデータ保存の為の空き容量が必要です。
その他	インターネット接続環境必須 Windows 対応のサウンド・カードまたはオーディオ・インターフェースならびに作成したファイルを正常に再生できる環境が必要です。 ※PDF マニュアルの閲覧ソフトのインストール、本ソフトに関する最新情報の確認やアップデートを行う際にインターネット環境が必要となります。

ご注意

対応ファイル
保存形式：MIDI / WAVE　画像保存：BMP

ソフトに関するご注意
※著作権により保護されている楽曲等を本製品で使用したことにより生じたトラブルに関しましては一切責任を負いかねます。
著作権を遵守してご利用ください。
※本製品は先にコードの指定を行ってからメロディーを作成いたします。メロディーだけを作成することはできません。
※ 1 小節に複数のコード作成や小節ごとに異なるコード数を設定することはできません。
※大譜表や総譜、和音を作成することはできません。
※楽譜の画像保存はできますが、本ソフトには印刷機能はついておりません。画像保存した楽譜を印刷するには別途印刷環境が必要です。
※歌詞入力はひらがな入力 (1 音符に対し 1 文字) のみとなります。
※対応ファイルの再生に必要なコーデック、フィルター等が必要です。お使いのパソコン上で正常に再生できるファイルのみの対応となります。
※全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。
※コーデックによって音質が劣化する場合があります。
※本ソフトで保存した音声をパソコンで視聴する場合は、別途再生環境が必要です。
※本ソフトをインストールする際、PDF マニュアルがインストールされます。PDF マニュアルを見るには PDF ファイルが閲覧できる環境が必要となります。
※データ量の内容やパソコンのパフォーマンスによっては動作に遅延などが発生する場合がありますのでご注意ください。
※本ソフトの動作環境を満たしたパソコンでもメモリが不足する場合があります。

その他ご注意
※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。
また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。
※各種サービス、またパソコン本体などの各種ハードウェアについてのお問い合わせやサポートにつきましては、各メーカーに直接お問い合わせください。
※ネットワーク上でデータを共有する機能はありません。また、ネットワークを経由してソフトを使用することはできません。
※複数台のパソコンで使用する場合には台数分のソフトが必要です。

インストール・アンインストール方法

インストール方法

お使いのコンピューターに『ほぼ全自動 作曲支太郎』をインストールします。

memo

インストールする前に・・・

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が100MB以上必要（左記以外に作成するデータ用の空き容量も必要）です。

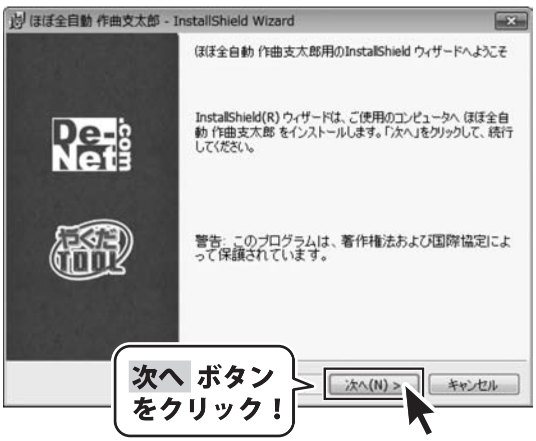
○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウィルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※WindowsOSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。



手順1 「ほぼ全自動 作曲支太郎」のセットアップがはじまります

CD-ROMが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。
左のような画面が表示されますので、
内容を確認して 次へ ボタンをクリックします。

memo

インストールが自動で始まらない場合

次の手順でインストールを始めてください。

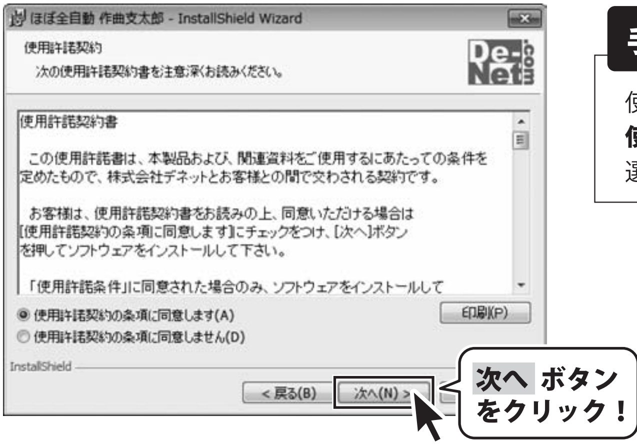
① [コンピューター(※)]をダブルクリックします。
② CDまたはDVDドライブをダブルクリックします。
③ [setup]をダブルクリックします。

※Windows Vistaの場合は「コンピュータ」
　Windows XPの場合は[マイコンピュータ]



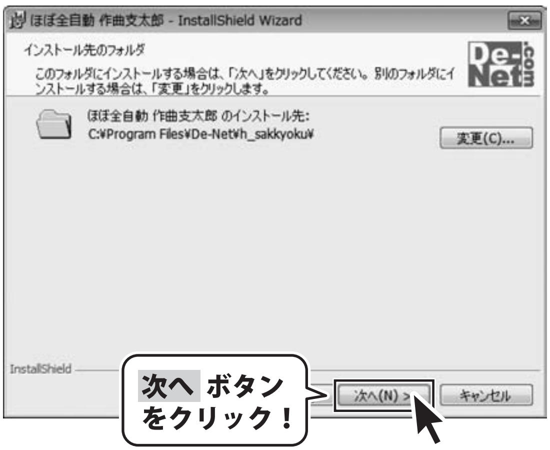
[setup]をダブルクリックします。

インストール・アンインストール方法



手順2 使用許諾契約の内容を確認します

使用許諾契約書の内容を確認し、
使用許諾契約の条項に同意しますをクリックして
選択した後、次へ ボタンをクリックしてください。



手順3 インストール先を確認します

インストール先を変更することができます。
変更しない場合は 次へ ボタンをクリックしてください。
インストール先を変更する場合は 変更 ボタンをクリックして、インストール先を選択してから、次へ ボタンをクリックしてください。
通常はインストール先を変更しなくても問題はありません。



手順4 インストールの設定内容を確認します

インストール先等の情報が表示されます。
確認を行い、インストールを行う場合は
インストール ボタンをクリックしてください。

インストール・アンインストール方法



完了 ボタンをクリック！

手順5 **インストール完了です**

インストールが正常に終了すると左のような画面が表示されます。
内容を確認して、完了 ボタンをクリックしてください。

アンインストール方法

お使いのパソコンから『ほぼ全自動 作曲支太郎』をアンインストール（削除）します。

本ソフトを完全に終了して ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で一覧表示されるプログラムの中から「ほぼ全自動 作曲支太郎」を選択して「アンインストール」をクリックすると、確認メッセージがでますので、はい をクリックするとアンインストールが実行されます。

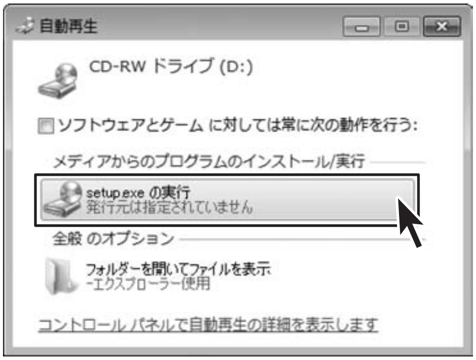
※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を選択してアンインストールを行ってください。

※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストールと変更」を選択してアンインストールを行ってください。

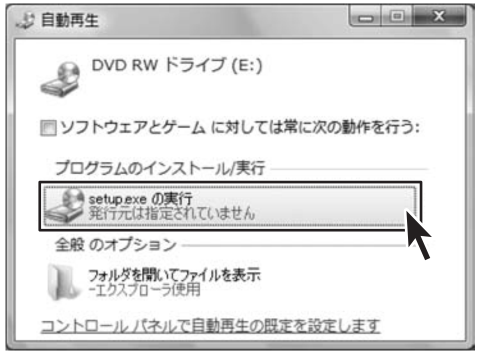
インストール・アンインストール方法

memo

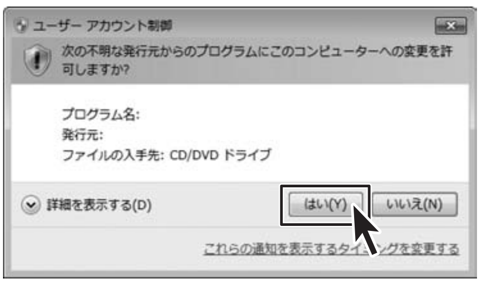
インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合
次の手順で作業を続けてください。



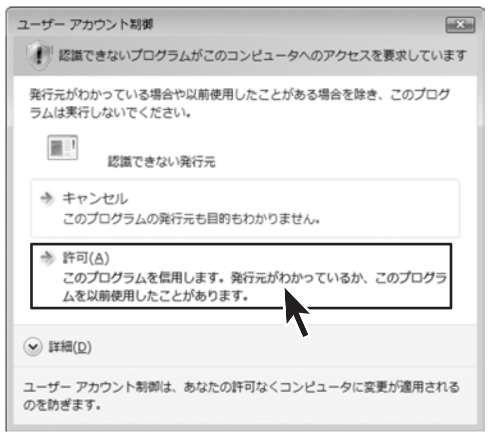
Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows Vistaで[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
はい ボタンをクリックしてください。



Windows Vistaで[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
[許可]をクリックしてください。

起動方法

ソフトウェア最新版について

ソフトウェア最新版を弊社ホームページよりダウンロードを行い、お客様がお使いのソフトウェアを最新のソフトウェアへ更新します。
ソフトウェア最新版をご利用いただくことで、より快適に弊社ソフトウェアをご利用いただくことが可能となります。下記、デネットホームページよりソフトウェアの最新情報をご確認ください。

http://www.de-net.com



取扱説明書（PDF）について

本ソフトにはPDFマニュアルが同梱されています。
PDFマニュアルをご覧いただくには、Adobe Readerが必要です。
正常に閲覧できない場合は、アドビシステムズ社より無償配布されているAdobe Readerをダウンロードしてください。
詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

スタートメニューからの起動

 ボタン（Windows XPの場合は [スタート] ボタン）をクリックして「すべてのプログラム」→「De-Net」→「ほぼ全自動 作曲支太郎」とたどって「ほぼ全自動 作曲支太郎」をクリックしますと本ソフトが起動します。

デスクトップショートカットからの起動



←ほぼ全自動 作曲支太郎
ショートカットアイコン
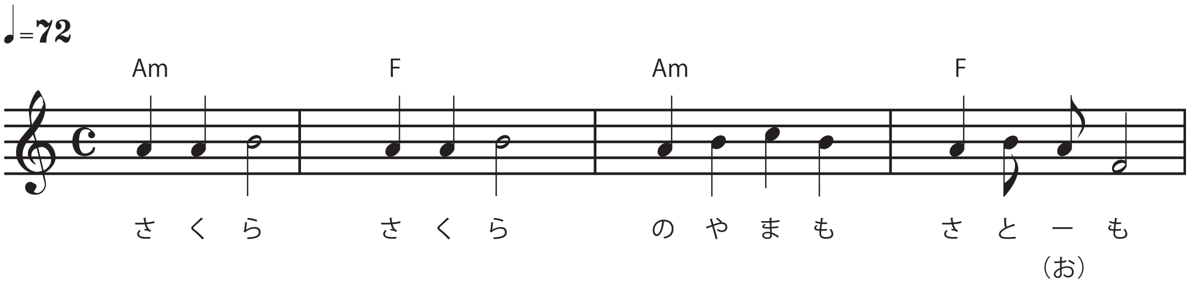


←取扱説明書（ほぼ全自動 作曲支太郎）
ショートカットアイコン

正常にインストールが完了しますと、デスクトップに上の様なショートカットアイコンができます。
ダブルクリックをすると、ソフトが起動します。

曲を作成・保存する

1から曲を作成して、保存する

「ほぼ全自動 作曲支太郎」を使って、1から曲を作成します。
ここでは、下記の操作で、「さくらさくら」の楽譜の前半４小節の曲を作る説明をします。



1 新規の画面を表示します

「ほぼ全自動 作曲支太郎」起動時、
曲のサンプルデータが入力、表示されています
ので、
[ファイル]メニューから[新規作成]をクリック
して、表示されるメニューから作成する曲の
拍子を選択します。
（ここでは、[4拍子の曲を作る]を選択します）

確認画面が表示されますので、内容を確認して、
はい ボタンをクリックすると、新規の画面が
表示されます。



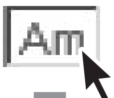
曲を作成・保存する

2 コードを設定します

まずは、曲のコードを設定します。

「Am」→「F」→「Am」→「F」の順番で
コードボタンをクリックします。
そうしますと、コード表示ボックスに選択した
コードが表示されます。

※黒い文字でAm、F、Am、Fと表示されます。
赤や青い文字で表示されている場合は、
文字の部分をクリックして、黒い文字に
変更してください。



コードが赤い文字の状態

コードをクリック！



コードが黒い文字の状態

コードの設定が終了しましたら、


ボタンをクリックして、
コードの設定を確定します。

コードの設定を確定すると、
楽譜表示エリアに設定したコードと
自動で作曲したサンプルの音符が表示されます。

※コードは偶数個で設定してください。
奇数個で設定すると、作曲する ボタンを
クリックした後に、最後に設定したコード
が自動で削除されます。

※コードを設定した小節の長さが曲の長さに
なります。

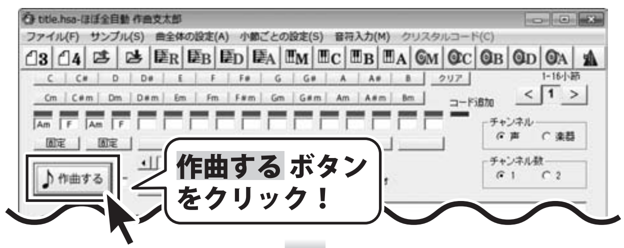




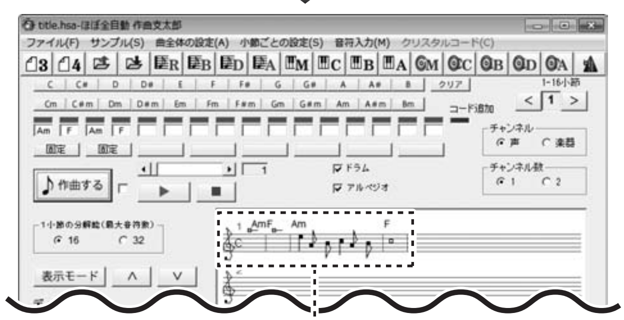
①「Am」→「F」→「Am」→「F」の順番で
コードボタンをクリック！
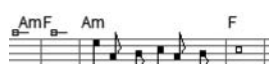


②コードボタンを押した順番に
左のボックス（1小節目）から設定されます



作曲する ボタン
をクリック！





設定したコードと自動で作曲したサンプルの
音符が楽譜に表示されました

曲を作成・保存する

3 音符入力画面で音符を入力します

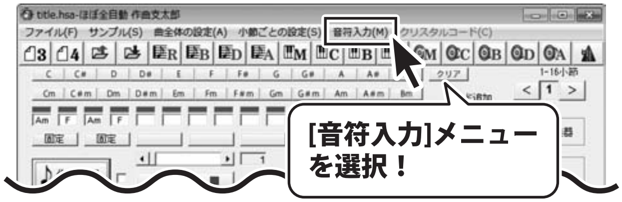
まずは、音符入力画面を表示します。

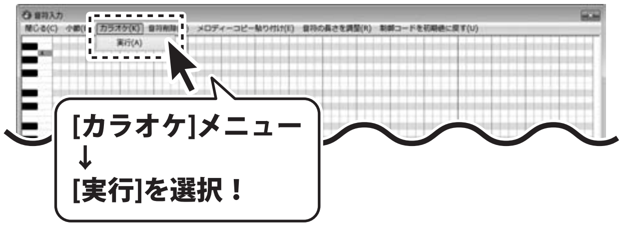
[音符入力]メニューをクリックします。

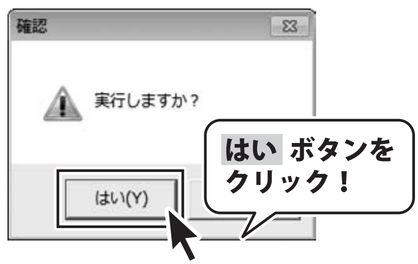
音符入力画面が表示されましたら、 2 で楽譜に入力された自動で作曲したサンプルの音符をすべて削除します。

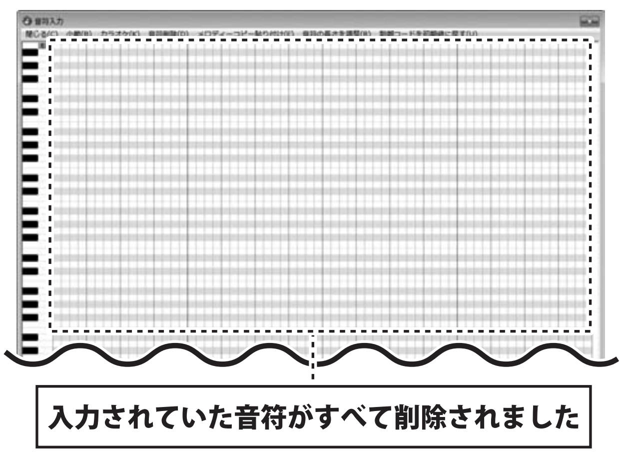
[カラオケ]メニューから[実行]をクリックします。確認画面が表示されますので、内容を確認して はい ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。









曲を作成・保存する

音符を入力する前に、以下の2点を確認します。

・1〜2小節の音符が編集できるように、
1〜2小節が選択されているか
1〜2小節の欄の下に青いバーが表示されていれば、選択されています。
・エディットモードが[編集]になっているか

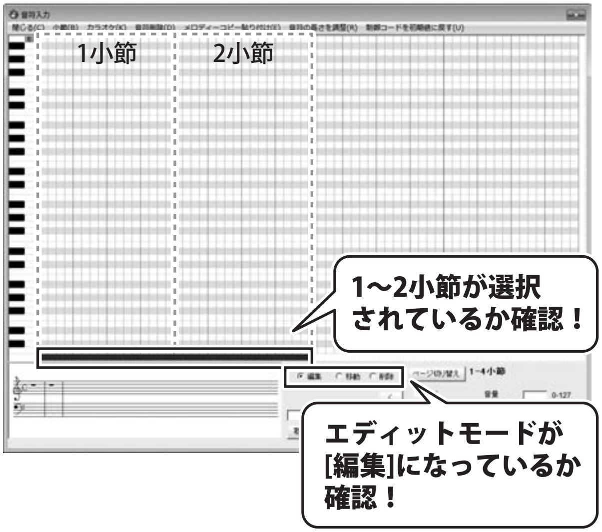
次に、1〜2小節の音符を入力します。

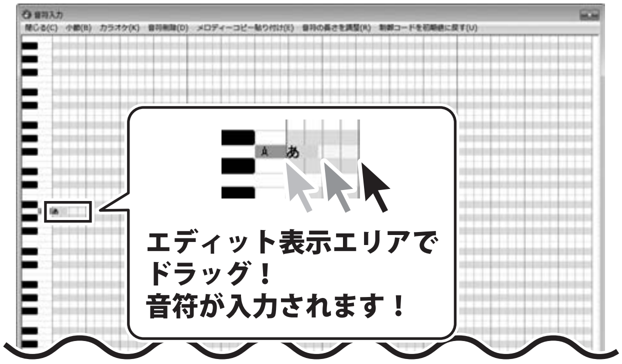
「さくらさくら」の最初の音符
4分音符の「ラ」を5オクターブの位置に入力します。

マウスをクリックしたまま
左から右にドラッグして、音符を入力します。

五線譜に入力した音符が表示されます。

※入力した音符が表示されていない場合、
五線譜の内容を更新するためには、
エディット表示エリアの音符が入力されていない部分をダブルクリックします。







曲を作成・保存する

memo

音符と休符

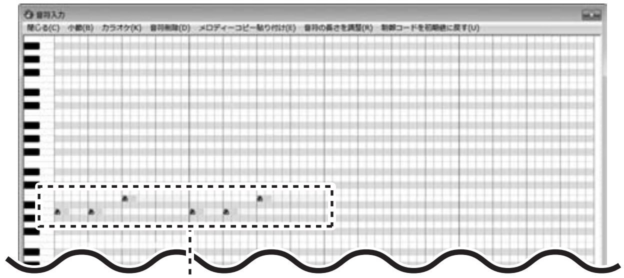
音符入力画面に下記のように入力すると、五線譜に下記の音符、休符が入力されます。

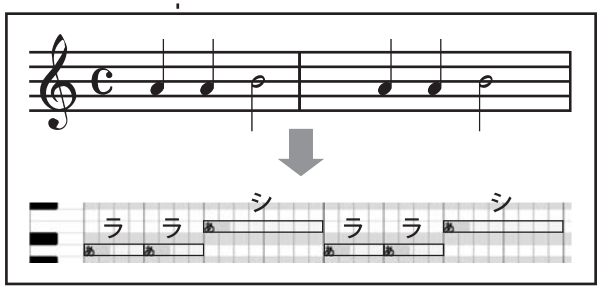
■ 音符を入力した状態　　□ 何も入力していない状態

音符を入力した状態	音符	何も入力していない状態	休符
■	16音符	□	16分休符
■■	8分音符	□□	8分休符
■■■	8分音符＋符点	□□□	8分休符＋符点
■■■■	4分音符	□□□□	4分休符
■■■■■■	4分音符＋符点	□□□□□□	4分休符＋符点
■■■■■■■■	2分音符	□□□□□□□□	2分休符
■■■■■■■■■■■■	2分音符＋符点	□□□□□□□□□□□□	2分休符＋符点
■■■■■■■■■■■■■■■■	全音符	□□□□□□□□□□□□□□□□	全休符

曲を作成・保存する

「さくらさくら」の最初の音符
4分音符の「ラ」を5オクターブの位置に
入力する方法（11ページ）を参考に
1〜2小節の音符を順番に入力していきます。





真ん中の赤いラインまで、上記のように音符を入力します。

memo

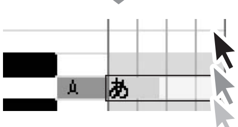
音符の移動・コピー・削除

音符の入力位置を変更する場合は、エディットモードを[移動]にして、音符をドラッグすると音符が移動します。また、[削除]にして、音符をクリックすると音符が削除されます。

音符を[移動]する



エディットモードを[移動]を選択！



音符を2マス上の
音階までドラッグで
移動させます。

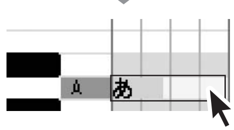


音符が移動しました。

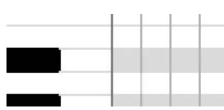
音符を[削除]する



エディットモードを[削除]を選択！



音符を1マスずつ
クリックすると、
音符が削除されます。



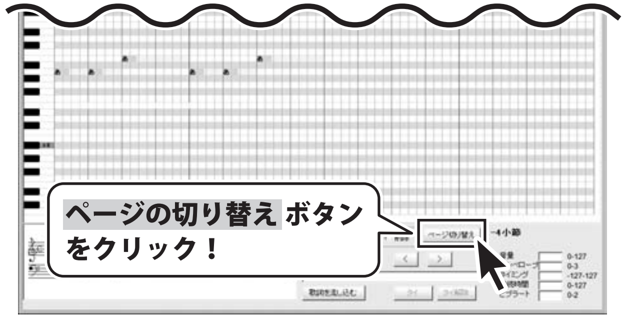
音符が削除されました。

曲を作成・保存する

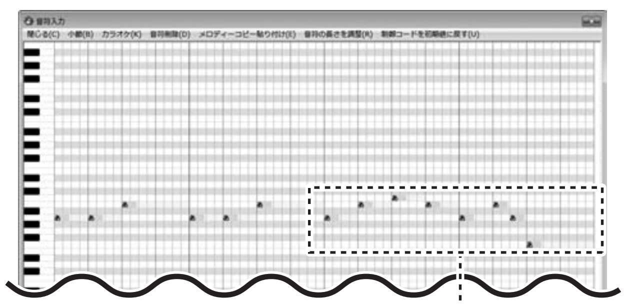
1〜2小節の音符の入力が終わりましたら、
3〜4小節の音符の入力をします。

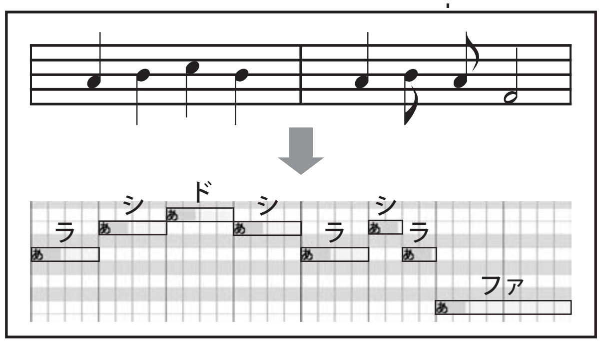
まずは、ページ切り替え ボタンをクリックして
編集できる小節を1〜2小節から3〜4小節に
切り替えます。

切り替わりましたら、
「さくらさくら」の3小節目の音符
4分音符の「ラ」を5オクターブの位置に
入力する方法（11ページ）を参考に
3〜4小節の音符を順番に入力していきます。





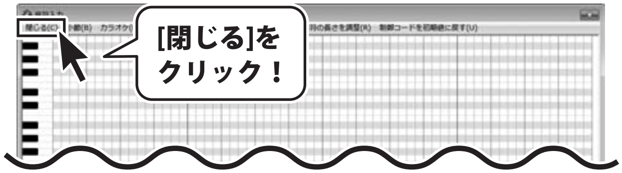


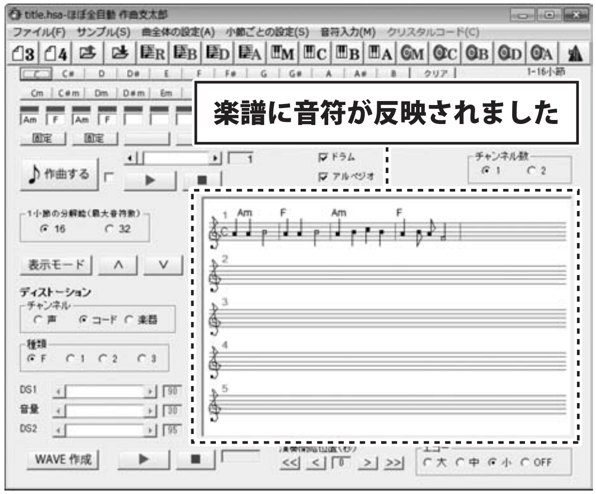


上記のように音符を入力します。

曲を作成・保存する

すべての音符入力が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、
音符入力画面を閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に反映されます。





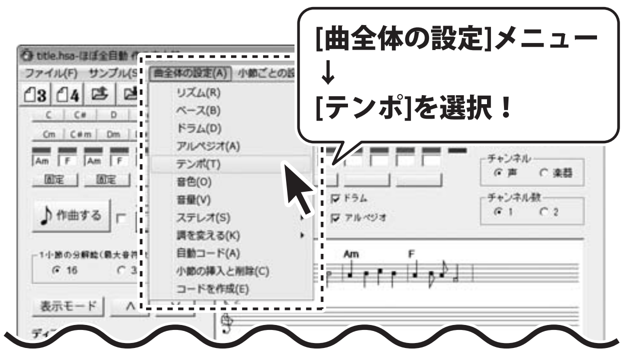
4 テンポを設定します

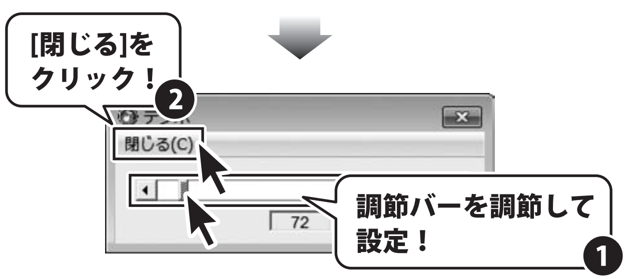
[曲全体の設定]メニュー →[テンポ]を
クリックします。

テンポ画面が表示されます。

初期設定では、[120]に設定されています。
調節バーを調節して、
50（遅い）～350（早い）まで、曲のテンポを
設定することができます。
ここでは、楽譜と同じ[72]に設定します。

[閉じる]をクリックしてテンポ画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。





曲を作成・保存する

ここで、作成してきた曲の設定を確定します。

作曲する ボタンをクリックして、
曲の設定を確定します。



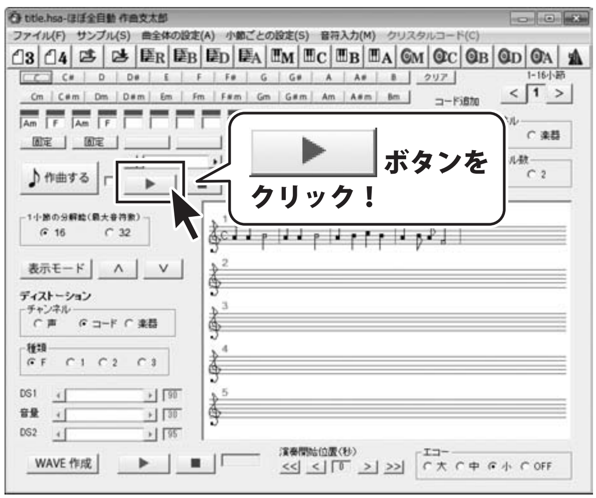
5 曲を視聴します

作成してきた曲の設定を確定することで、
あわせてＭＩＤＩファイルの曲が作られます。

ここで一度ＭＩＤＩファイルを視聴をしてみます。


ボタンをクリックすると、
入力した音符とコードが再生されます。

※ＭＩＤＩファイルは、
コンパクトなファイルで、楽器音専用です。



曲を作成・保存する

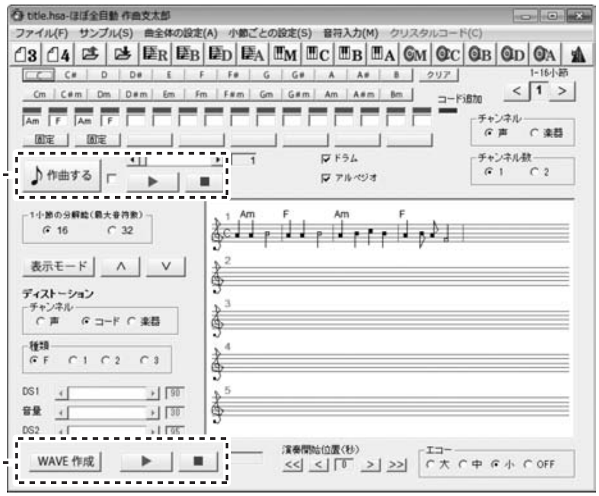
memo

MIDIファイルとWAVEファイル

本ソフトは、「ＭＩＤＩファイル」と「ＷＡＶＥファイル」を作ります。
「ＭＩＤＩファイル」は、コンパクトなファイルで、楽器音専用です。
「ＷＡＶＥファイル」は、大きなファイルですが、声と楽器音を同時に出すことができます。

ＭＩＤＩファイルを作成・再生します

ＷＡＶＥファイルを作成・再生します



歌声を含む「ＷＡＶＥファイル」は、「ＭＩＤＩファイル」を元に作られますので、
歌声を再生するためには、最初に「ＭＩＤＩファイル」を作る必要があります。

「ＭＩＤＩファイル」は自動的に作られる場合と、
作曲する ボタンをクリックすると作られる場合があります。

メロディーと歌詞を変更した場合は「ＭＩＤＩファイル」は自動的に作られ、
「音量」「音色」「テンポ」などを変えた場合は 作曲する ボタンをクリックすると
「ＭＩＤＩファイル」が作られます。

曲を作成・保存する

6 曲に歌詞を設定します

音符入力画面を表示して、曲に歌詞を設定します。

[音符入力]メニューをクリックして、
音符入力画面を表示します。

歌詞の入力は、1〜2小節から3〜4小節の順番で入力していきます。
まずは、1〜2小節の音符に歌詞を入力します。

歌詞を入力する前に、以下の点を確認します。

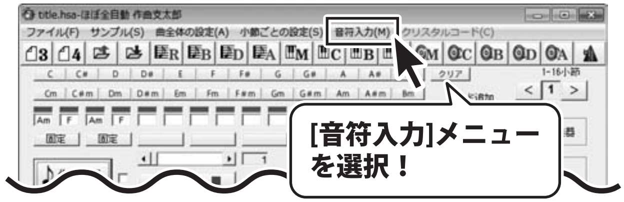
・1〜2小節の音符が編集できるように、1〜2小節が選択されているか
1〜2小節の欄の下に青いバーが表示されていれば、選択されています。

次に、歌詞の入力欄に歌詞を入力します。

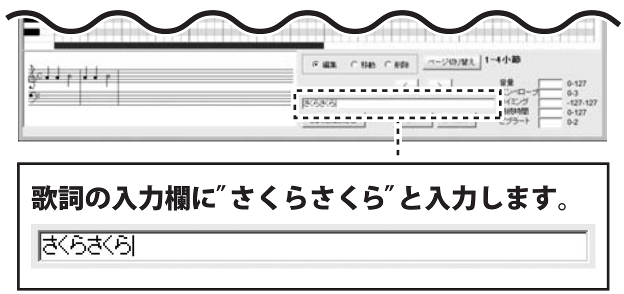
ここでは、″さくらさくら″と歌詞を入力します。

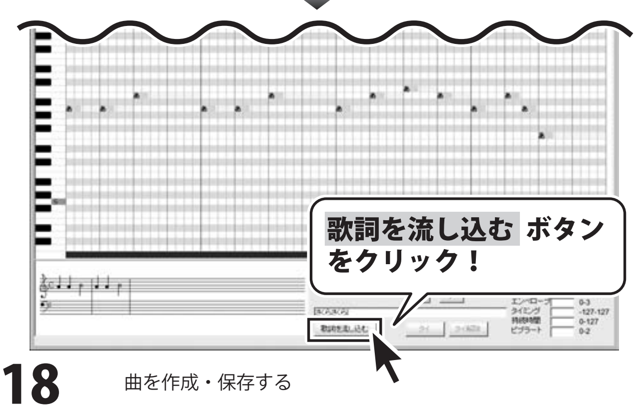
※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで入力してください。

歌詞の入力が終わりましたら、
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。









曲を作成・保存する

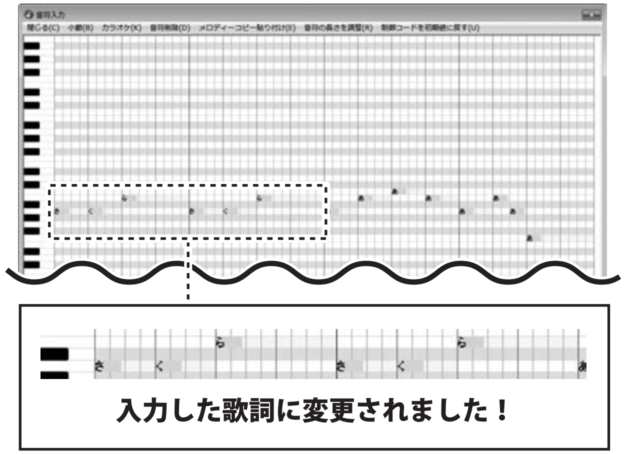
エディット表示エリアの音符上の文字が、
入力した歌詞に変更されます。

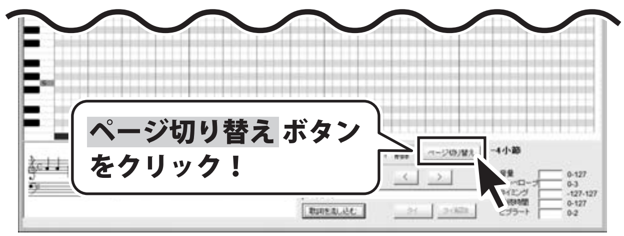
1〜2小節の音符の入力が終わりましたら、
同様に3〜4小節の歌詞の入力をします。

まずは、ページ切り替え ボタンをクリックして
編集できる小節を1〜2小節から3〜4小節に
切り替えます。

切り替わりましたら、
歌詞の入力欄に歌詞を入力します。
ここでは、″のやまもさとおも″と歌詞を
入力します。

※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで
　入力してください。





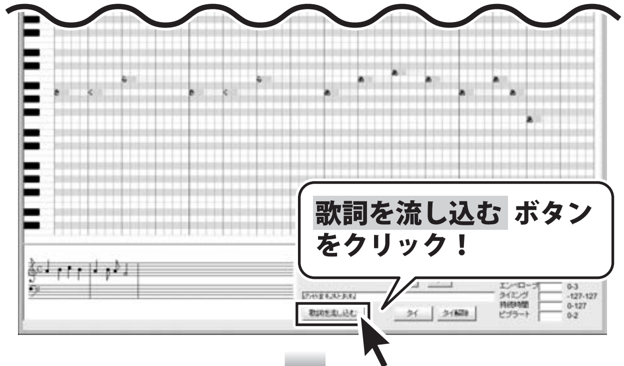


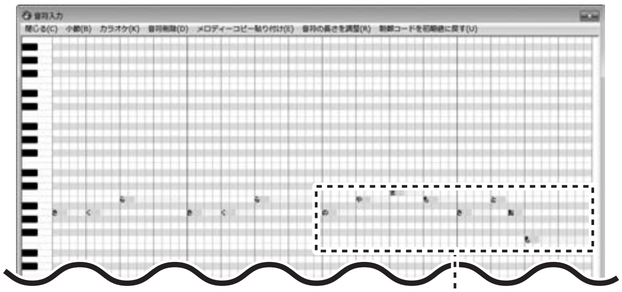


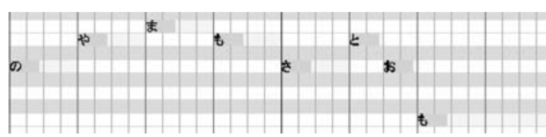
曲を作成・保存する

歌詞の入力が終わりましたら、
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。

歌詞の入力作業が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、
音符入力画面を閉じて、メイン画面に戻ります。







入力した歌詞に変更されました！



曲を作成・保存する

memo

歌詞に入力可能な文字一覧

歌詞として使用できるのは下記の文字です。（カタカナ、漢字、アルファベットは使えません）

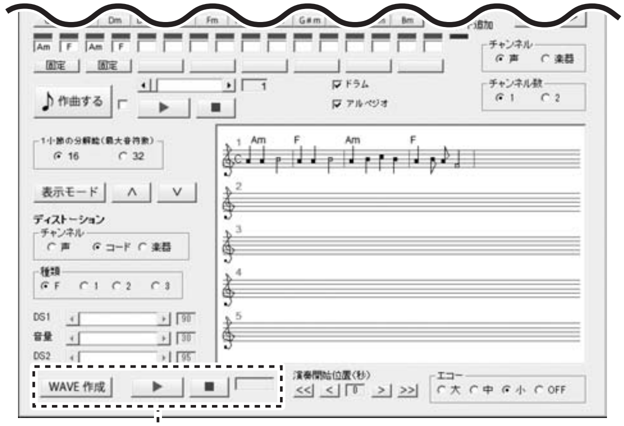
下記の文字に「っ」をつけると、短く発音します。
「あ」と入力すると、長い音符では「あー」と再生されます。
「あっ」と入力すると「あっ」と再生されます。

あ	い	う	え	お	が	ぎ	ぐ	げ	ご
か	き	く	け	こ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
さ	し	す	せ	そ	だ	でぃ	どぅ	で	ど
た	ち	つ	て	と	ば	び	ぶ	べ	ぼ
な	に	ぬ	ね	の	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
は	ひ	ふ	へ	ほ	きゃ		きゅ	きぇ	きょ
ま	み	む	め	も	しゃ		しゅ	しぇ	しょ
や		ゆ	いぇ	よ	ちゃ		ちゅ	ちぇ	ちょ
ら	り	る	れ	ろ	にゃ		にゅ	にぇ	にょ
わ	うぃ		うぇ	うぉ	ひゃ		ひゅ	ひぇ	ひょ
ん					みゃ		みゅ	みぇ	みょ
					りゃ		りゅ	りぇ	りょ
					ぎゃ		ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
					じゃ		じゅ	じぇ	じょ
					びゃ		びゅ	びぇ	びょ
					ぴゃ		ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
					てぃ		とぅ		
					ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ

7 歌詞つきのＷＡＶＥファイルを作成します

メイン画面に戻ったら、入力した歌詞を含めたＷＡＶＥファイルを作成します。

ＷＡＶＥ作成 ボタンをクリックして、ＷＡＶＥファイルを作成します。
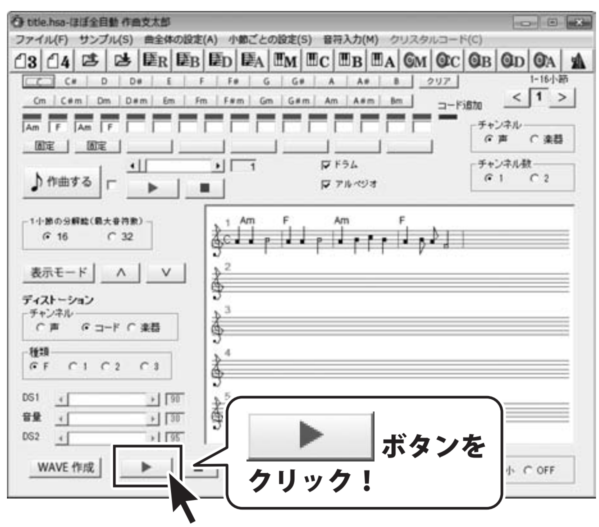




ＷＡＶＥファイルの作成には少し時間がかかります。
表示が[作成中]→[完了]に変わったら作成完了！

8 歌詞つきの曲を視聴します

作成したＷＡＶＥファイルを視聴をしてみます。

▶ ボタンをクリックすると、曲と入力した歌詞が再生されます。



9 作曲した曲を保存します

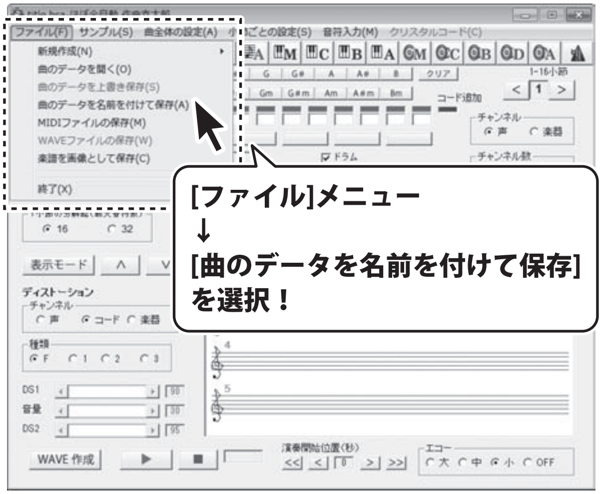
作曲した曲のデータを保存します

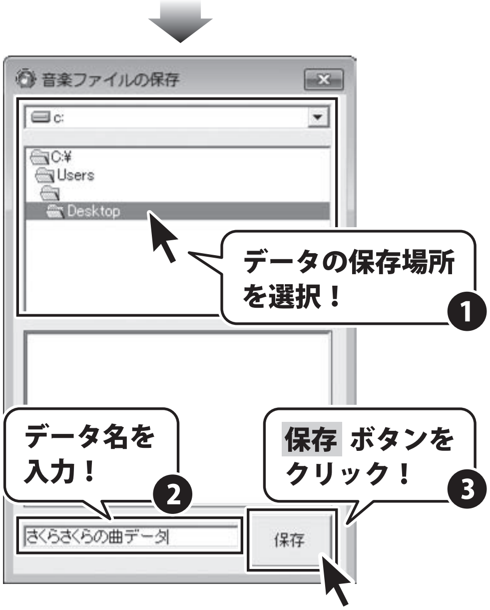
作曲した曲のデータを保存します。

[ファイル]メニュー →
[曲のデータを名前を付けて保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.hsa」になります。





曲を作成・保存する

作成した曲をＭＩＤＩファイルで保存します

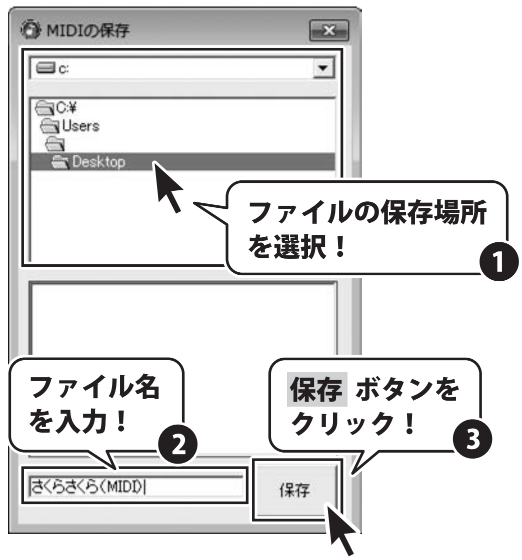
作曲した曲のＭＩＤＩファイルを保存します。

[ファイル]メニュー→[ＭＩＤＩファイルの保存]を選択します。

ＭＩＤＩの保存画面が表示されますので、
ファイルを保存する場所を選択して、
ファイル名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.mid」になります。





曲を作成・保存する

作成した曲をＷＡＶＥファイルで保存します

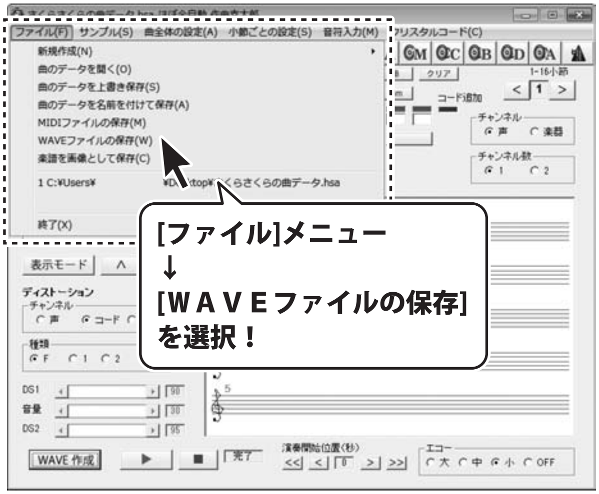
作曲した曲のＷＡＶＥファイルを保存します。

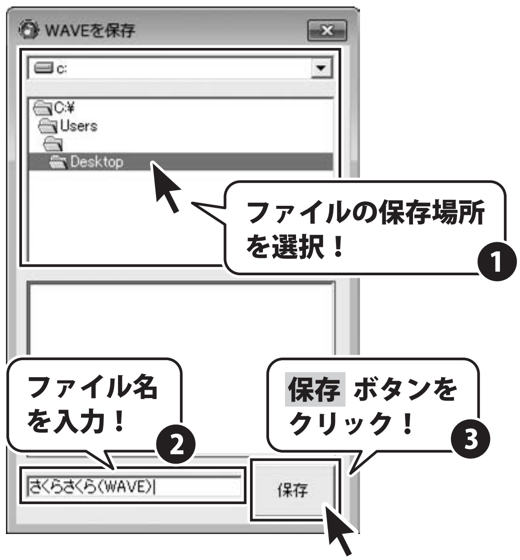
[ファイル]メニュー →[ＷＡＶＥファイルの保存]を選択します。

※メニューが灰色の文字で選択できない場合は「ＷＡＶＥファイルの作成」を行ってください。
（詳細は22ページをご覧ください）

ＷＡＶＥを保存画面が表示されますので、
ファイルを保存する場所を選択して、
ファイル名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.wav」になります。





曲を作成・保存する

自動作曲機能をつかって、曲を作成、保存する
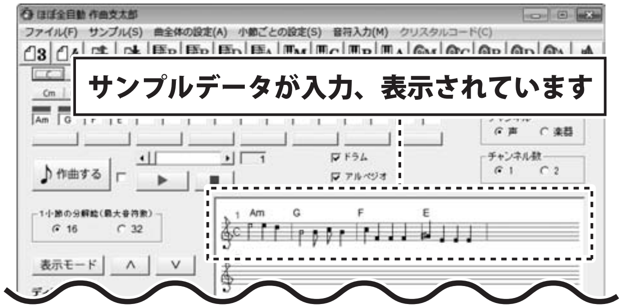
「ほぼ全自動 作曲支太郎」を使って、自動で4小節の曲を作る説明をします。
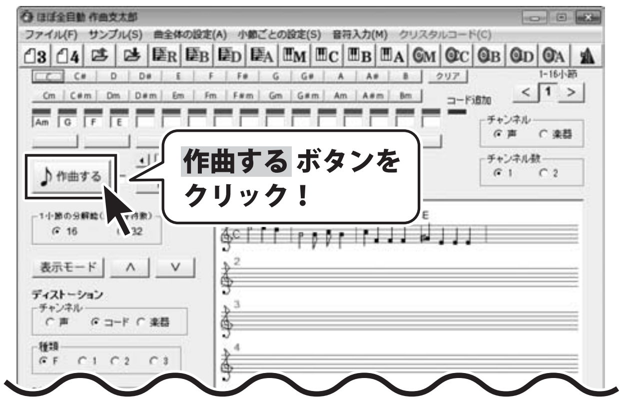
1 4小節の曲のメロディーを作ります

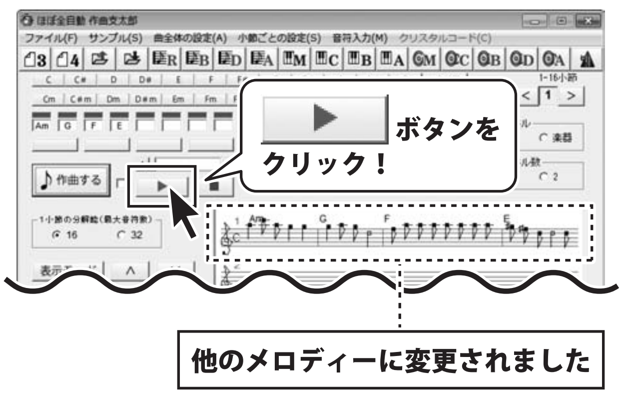
「ほぼ全自動 作曲支太郎」起動時、
曲のサンプルデータが入力、表示されています。

作曲する ボタンをクリックすると、
4小節の曲のメロディーが書き換えられます。
メロディーが書き換えられましたら、
▶ ボタンをクリックして、
メロディーを確認します。

作曲する ボタンをクリックするたびに、
メロディーが書き換えられますので、
気に入るメロディーが入力、表示されるまで、
同じ操作を繰り返します。
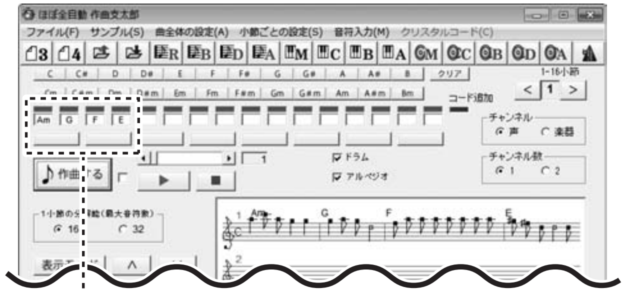




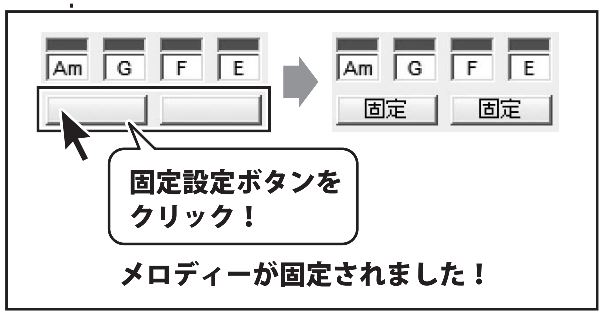


メロディーが決まりましたら、
コード表示エリアの 固定 ボタンをクリックして、[固定]の文字を表示させ、メロディーを変更しないように固定します。

※最初の2小節はそのままで、
後の2小節だけメロディーを変更したい場合は、最初の2小節だけ[固定]に設定し、
作曲する ボタンをクリックすると、後の2小節のメロディーが変わります。

[固定]に設定され、作曲する ボタンをクリックしても、メロディーが変更されなくなりました。





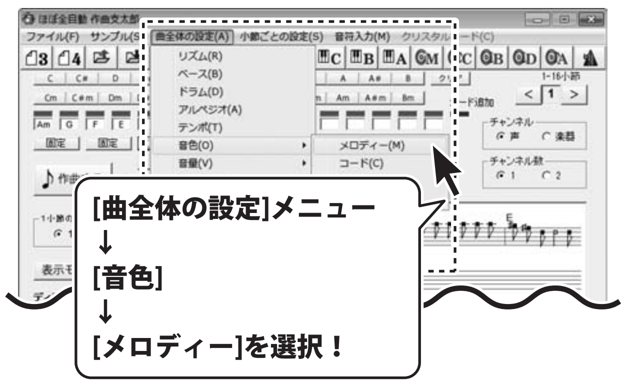
2 メロディーの音色を変更します

メロディーが決まりましたら、
メロディーの音色を変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [音色]→[メロディー]をクリックします。
メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。
ここでは、[Music Box]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。





曲を作成・保存する

メイン画面に戻ったら、
作曲する ボタンをクリックします。
メロディーが選択した音色で再生されますので、
▶ ボタンをクリックして、
確認します。



3 リズムパターンを変更します

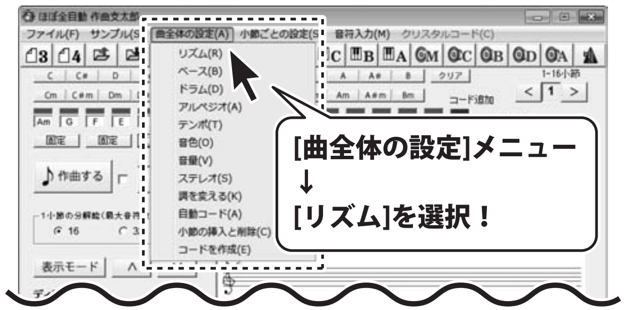
メロディーの音色が決まりましたら、
曲のリズムを変更してみます。
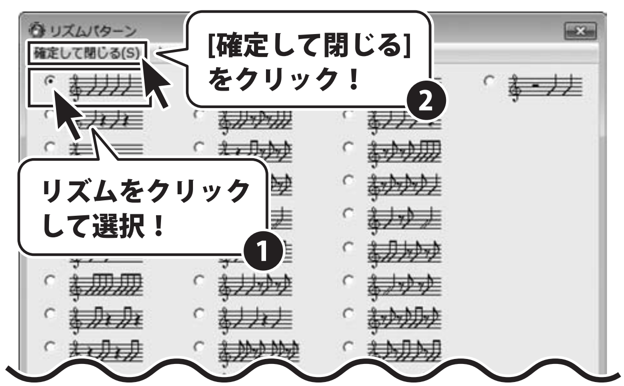
[曲全体の設定]メニュー → [リズム]をクリックします。
リズムパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から1番目のリズム]を選択します。

変更するリズムの○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、
作曲する ボタンをクリックします。
曲が選択したリズムで再生されますので、
▶ ボタンをクリックして、
確認します。







曲を作成・保存する

4 ベースパターンを変更します

曲のリズムが決まりましたら、
曲のベースパターンを変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。
ベースパターン画面が表示されます。

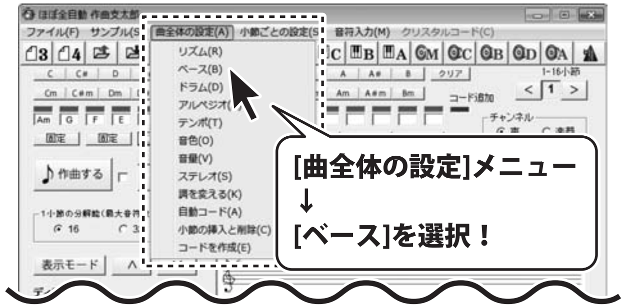
ここでは、[左から2列目の上から3番目のベースパターン]を選択します。

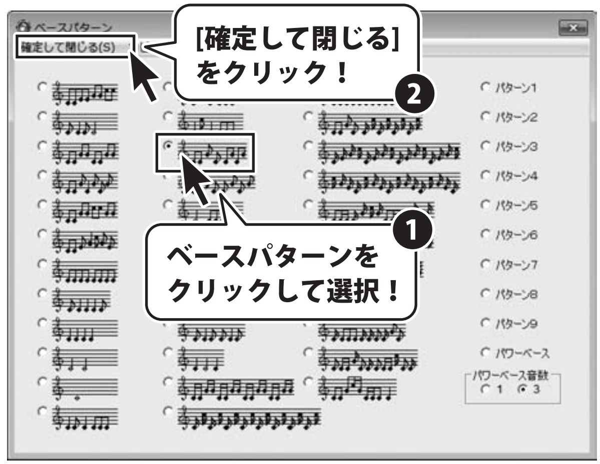
変更するベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、
作曲する ボタンをクリックします。
曲が選択したベースパターンで再生されますので、



ボタンをクリックして、
確認します。







5 ドラムパターンを変更します

曲のベースパターンが決まりましたら、
曲のドラムパターンを変更してみます。

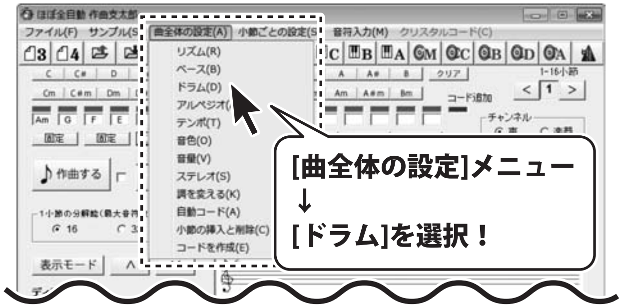
[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。
ドラムパターン画面が表示されます。

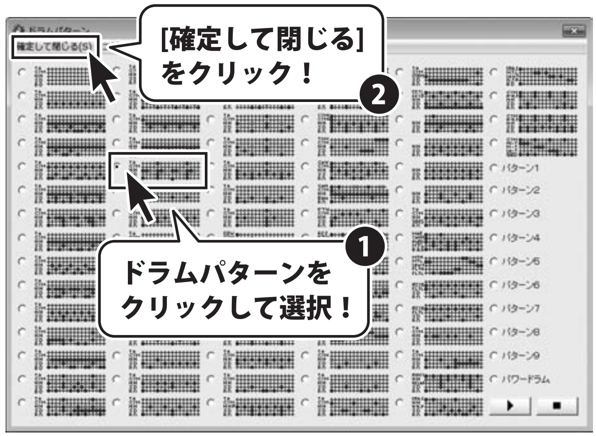
ここでは、[左から2列目の上から5番目のドラムパターン]を選択します。

変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、
作曲する ボタンをクリックします。
曲が選択したドラムパターンで再生されますので、

▶ ボタンをクリックして、
確認します。







曲を作成・保存する

6　音量を変更します

曲のドラムパターンが決まりましたら、
曲の音量を変更してみます。

音量は､｢メロディー｣｢ベース｣｢コード｣｢ドラム｣
｢アルペジオ｣の5つの項目別に設定することが
できます。
どの項目の音量調節も同様の手順になります。
ここでは､｢メロディー｣の音量を変更する説明を
します。

[曲全体の設定]メニュー → [音量]→[メロディー]
をクリックします。
メロディーの音量画面が表示されます。

初期設定では、最大音量の[127]に
設定されています。調節バーを調整して、
０（小さい）～127（大きい）まで
メロディーの音量を変更することができます。
ここでは、[100]に設定します。

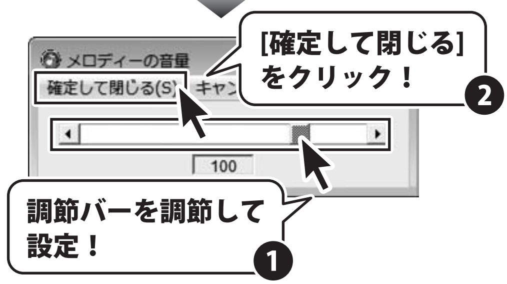
[確定して閉じる]をクリックして、
メロディーの音量画面を閉じて、メイン画面に
戻ります。

メイン画面に戻ったら、
作曲する ボタンをクリックします。
設定した音量で曲が再生されますので、



ボタンをクリックして、
確認します。







曲を作成・保存する

7 小節を挿入して作成した曲をコピーします

ここでは、ここまでに作成した4小説の曲をコピーして8小節の曲に編集する方法を説明します。

小節の挿入とコピーを行います。

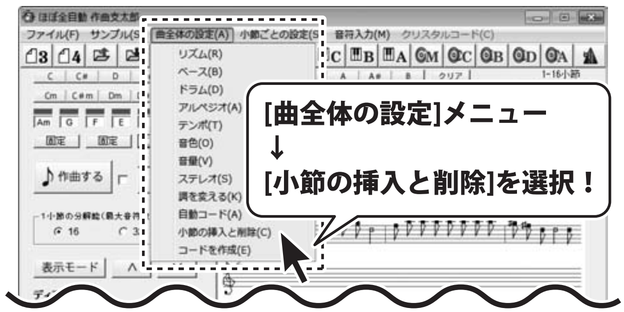
[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]
をクリックします。
小節の挿入と削除画面が表示されます。

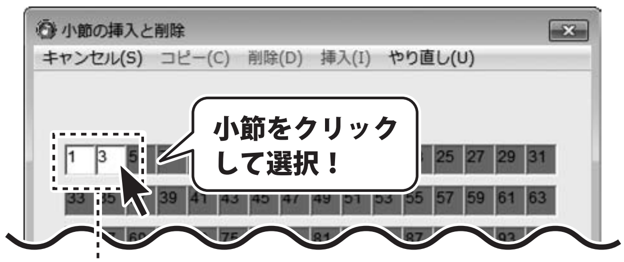
小節の1～253までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は「白色」、
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。

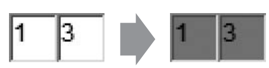
ここまでに作成してきた曲は4小節の曲なので、
1（1、2小節）と3（3、4小節）の小節が
「白色」で表示されています。

ここでは、4小節分コピーをするので、
1（1、2小節）と3（3、4小節）をクリックして
選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

□が選択状態になると、画面上部の[コピー]が
クリックできるようになりますので、
[コピー]をクリックします。







クリックして、選択状態になると、
□の色がピンク色になります。



曲を作成・保存する

小節のコピーが完了しますと、
挿入が可能な小節「5」が白色で表示されます。

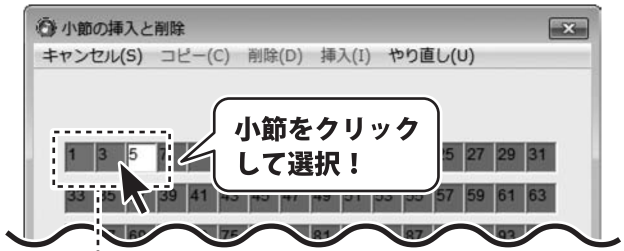
「5」をクリックして､選択状態になると、
「黄色」に表示されます。

□が選択状態になると、画面上部の[挿入]が
クリックできるようになりますので、[挿入]を
クリックします。

小節の挿入と削除画面が閉じて、
メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、楽譜表示エリアに
4小節分の楽譜がコピーされて8小節の曲に編集
されているのを確認し、

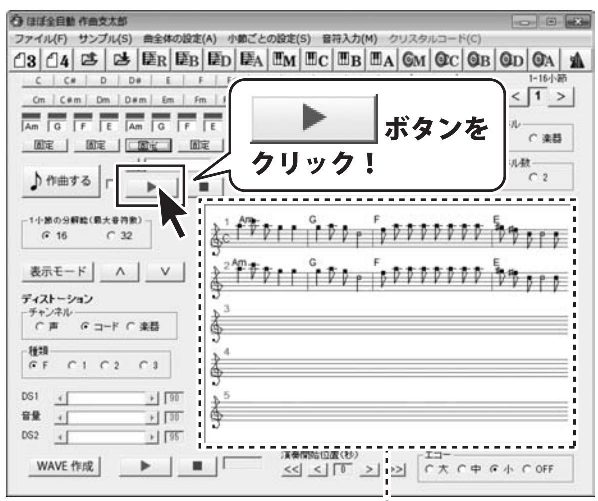

ボタンをクリックして、
コピー、挿入した曲を確認します。





クリックして、選択状態になると、
□の色が黄色になります。





8小節の曲になりました

8 作曲した曲を保存します

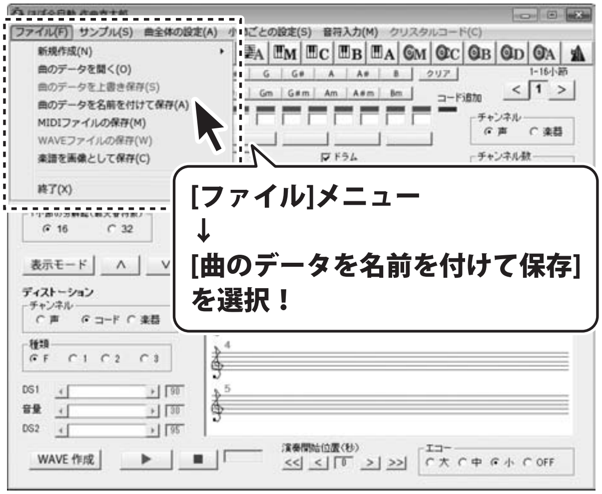
作曲した曲のデータを保存します

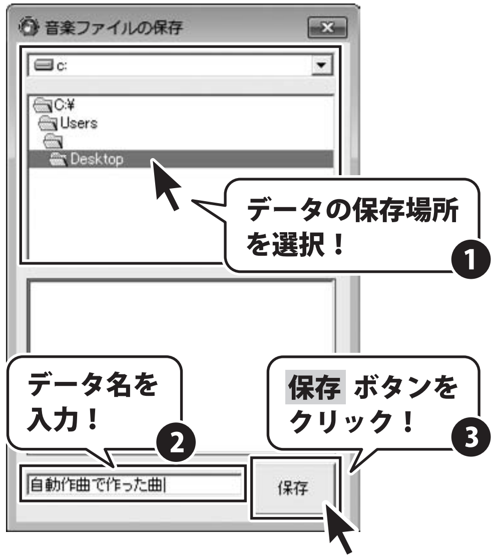
作曲した曲のデータを保存します。

[ファイル]メニュー →
[曲のデータを名前を付けて保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.hsa」になります。





小節の削除

小節の挿入と削除機能を使用すると、曲に前奏をつける作業や、曲を繰り返す作業がかんたんにできます。
小節の挿入、コピーの操作方法は、32～33ページをご覧ください。

小節の削除を行います。
ここでは8小節の曲を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]をクリックします。
小節の挿入と削除画面が表示されます。

小節の1～253までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は「白色」、使用されていない小節は「灰色」で表示されます。

1（1、2小節）、3（3、4小節）、5（5、6小節）、7（7、8小節）の小節が「白色」で表示されています。

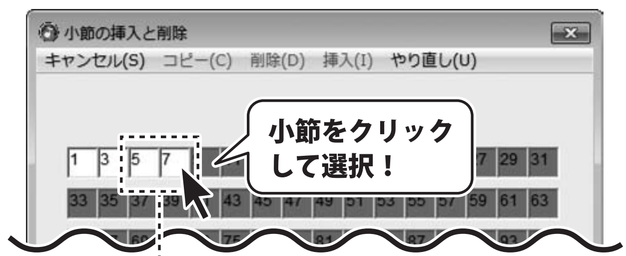
ここでは、5（5、6小節）、7（7、8小節）の2小節分を削除するので、
削除するはじめの小節の5（5、6小節）、
削除する終わりの小節の7（7、8小節）を
クリックして選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

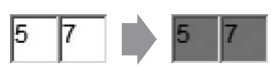
※1つの小節を削除する場合は、削除する小節のはじまりと終わりを設定するので、削除する小節を2回クリックしてください。
※削除する小節の選択に失敗した場合は、[やり直し]をクリックして、再度削除の操作を行ってください。

□が選択状態になると、画面上部の[削除]がクリックできるようになりますので、
[削除]をクリックします。

小節の削除が実行され、小節の挿入と削除画面が閉じて、メイン画面に戻ります。







クリックして、選択状態になると、
□の色がピンク色になります。



その他の機能・操作説明

メロディーのコピーと貼り付け

音符入力画面から、1小節ごとにメロディーをコピー、貼り付けすることができます。

メロディーのコピー、貼り付けを行います。
ここでは8～25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

まずは、音符入力画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

音符入力画面が表示されましたら、
[メロディーコピー貼り付け]メニューを
クリックして、
メロディーのコピー貼り付け画面を表示します。

小節の1～253までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は「白色」、
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。

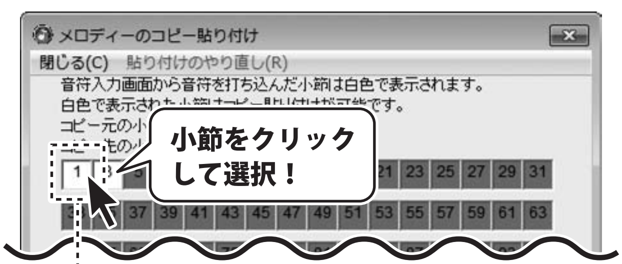
1（1、2小節）、3（3、4小節）の小節が
「白色」で表示されています。

ここでは、1（1、2小節）の1小節分を
コピーして、3（3、4小節）に貼り付けするので、
1（1、2小節）をクリックして選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

※灰色で表示されている小節を白色に変更する
　には、事前にコードの設定が必要です。







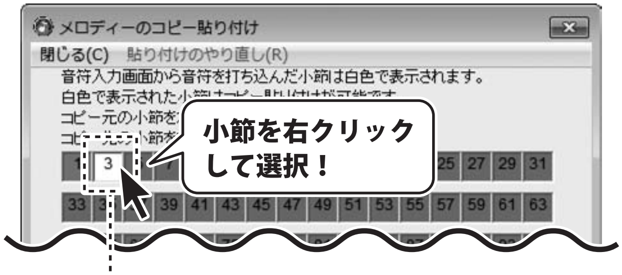


クリックして、選択状態になると、
□の色がピンク色になります。

その他の機能・操作説明

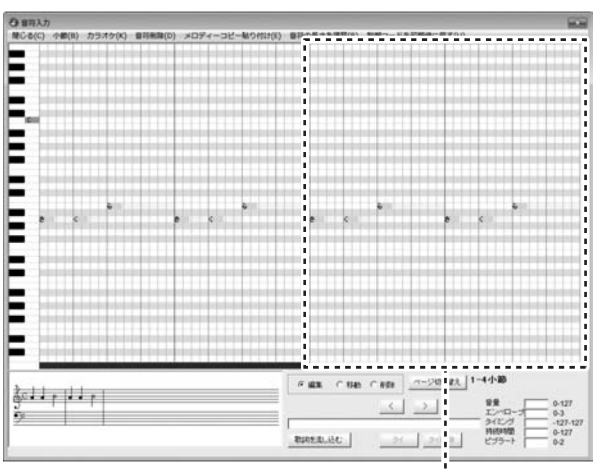
次にコピーした小節を貼り付ける小節
3（3、4小節）を右クリックしますと、
□の色が「黄色」に変わり、
コピーした1（1、2小節）のメロディーが
3（3、4小節）に貼り付けられます。

コピー、貼り付けが終了しましたら、
[閉じる]をクリックして、
メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。



クリックして、選択状態になると、
□の色が黄色になります。





1（1、2小節）が3（3、4小節）にコピー、貼り付けされました

自動コードを設定する

メロディーに合ったコード（和音）を自動でつけることができます。

作成したメロディーに自動でコードを
設定します。
ここでは8～25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

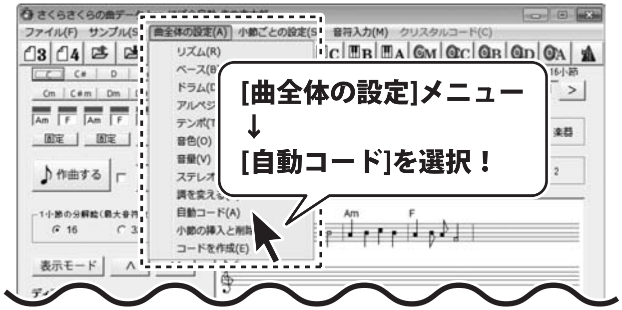
[曲全体の設定]メニュー → [自動コード]
をクリックします。
自動コード画面が表示されます。

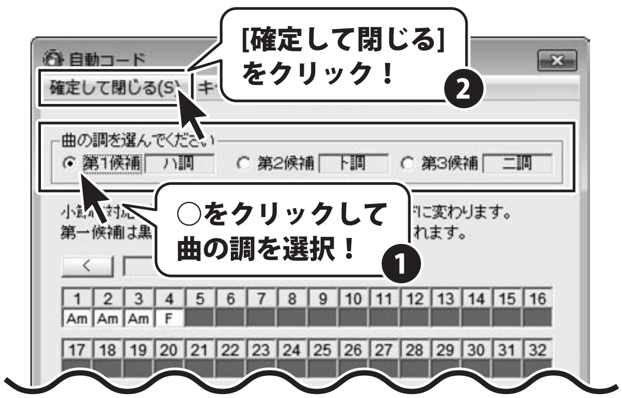
小節の1～254までの数字が書かれています。
曲が入力されている現在使用中の小節は「白色」、
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。

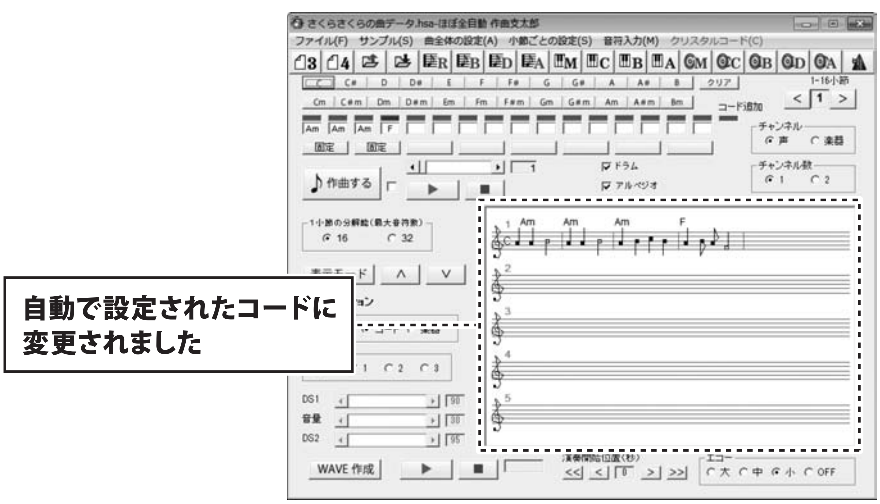
1～4の小節が「白色」で表示されています。

○をクリックして曲の調を選択、
[確定して閉じる]をクリックします。

自動でコードが設定され、自動コード画面が
閉じて、メイン画面に戻ります。





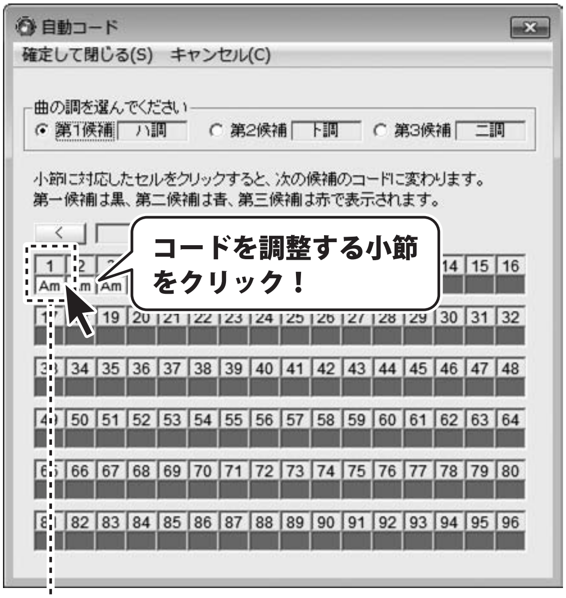


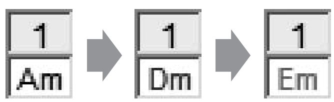
自動コードで設定したコードを調整します

自動で設定したコードを調整します。

自動コード画面で、調整する小節のコードを
クリックしますと、コードが切り替わります。

1回クリックすると第二候補に、
2回クリックすると第三候補が表示されます。





コードをクリックすると、
第二候補、第三候補とコードが切り替わります

その他の機能・操作説明
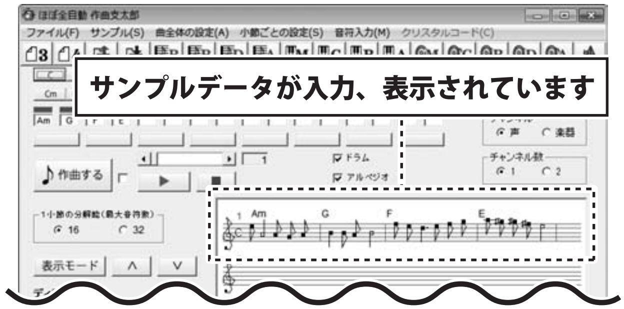
サンプルコード進行を使用して曲を作る

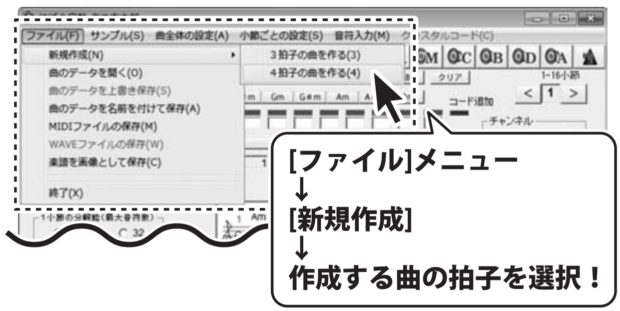
自動作曲機能で曲を作る場合に、はじめに各小節にコードを設定することができます。

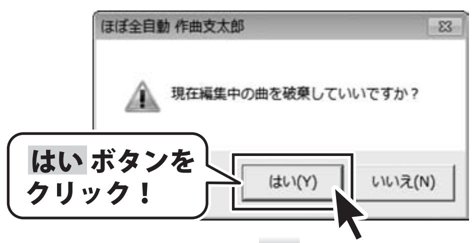
「ほぼ全自動 作曲支太郎」起動時、
曲のサンプルデータが入力、表示されています
ので、
[ファイル]メニューから[新規作成]をクリック
して、表示されるメニューから作成する曲の
拍子を選択します。
（ここでは、[4拍子の曲を作る]を選択します）

確認画面が表示されますので、内容を確認して、
はい ボタンをクリックすると、新規の画面が
表示されます。

新規の画面が表示されましたら、
[サンプル]メニューをクリックして、
サンプル曲とサンプルコード進行画面を
表示します。







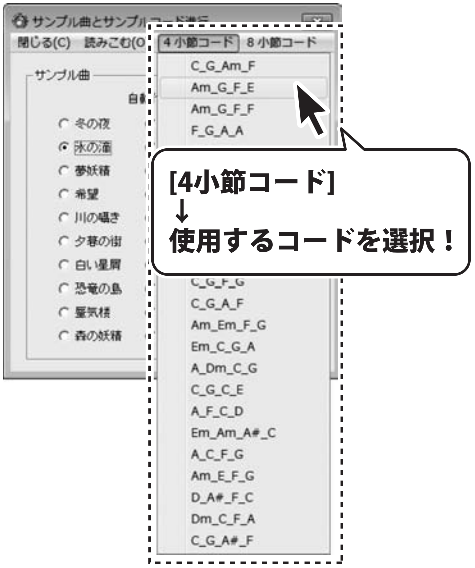


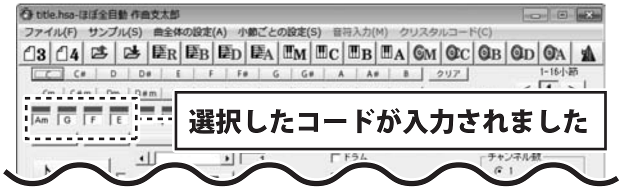
その他の機能・操作説明

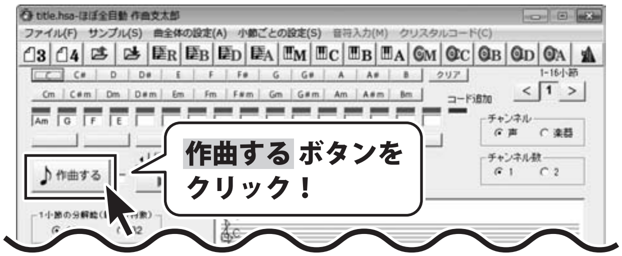
画面上部の[4 小節コード]をクリックして、
表示されるメニューからコードを選択します。
ここでは[Am_G_F_E]を選択します。
コードを選択すると、メイン画面に戻ります。

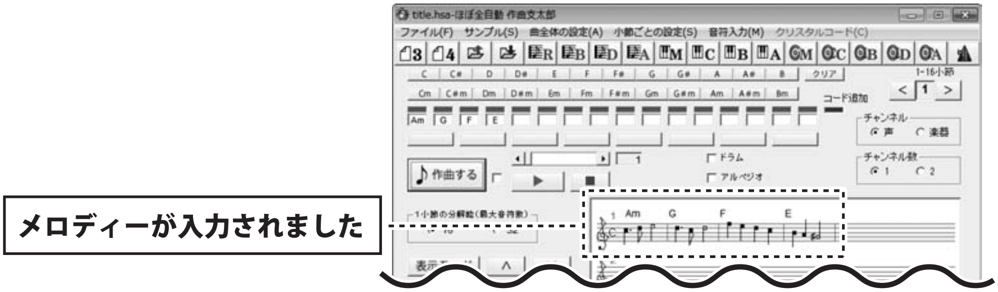
コード入力位置表示ボックスに選択したコード
が表示されます。

作曲する ボタンをクリックしますと、
楽譜表示エリアにメロディーが表示されます。









各小節ごとに音色を設定する

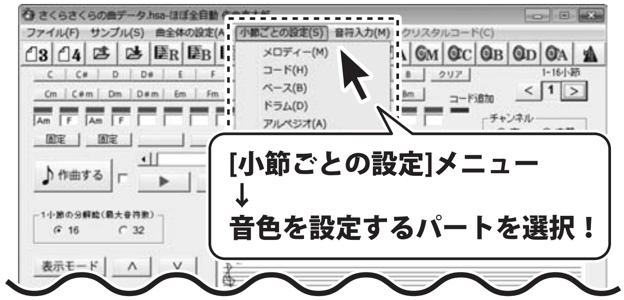
1小節ごと、または2小節ごとに音色を設定します。曲全体の音色を設定する方法は27～28ページをご覧ください。

ここでは8～25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから
音色を設定するパートを選択します。
ここでは、[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、
音色を設定する小節のページをクリックします。
ここでは、1小節目の音色を設定しますので、
[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、
音色を設定する小節をクリックします。
ここでは、1小節目の音色を設定しますので、
[1]をクリックして、選択します。







メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。
ここでは、[Music Box]を選択します。

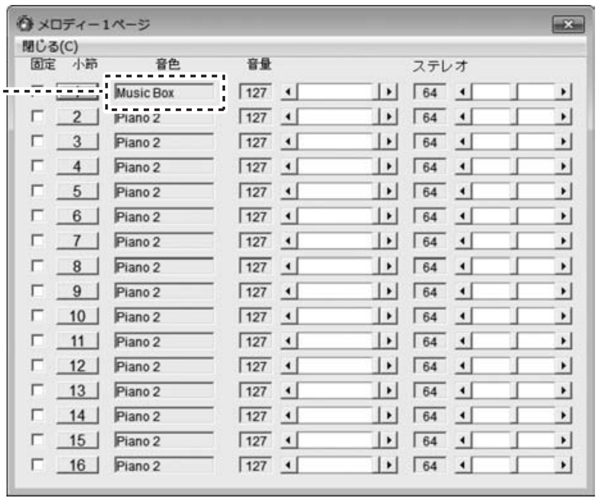
変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メロディー1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。





音色が設定されました

各小節ごとに音量を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音量を設定します。曲全体の音量を設定する方法は31ページをご覧ください。

ここでは8〜25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

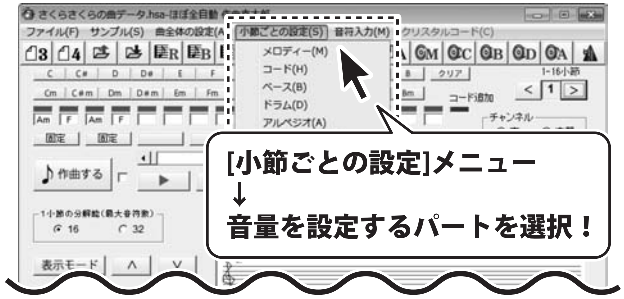
まずは、[小節ごとの設定]メニューから
音量を設定するパートを選択します。
ここでは、[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、
音量を設定する小節のページをクリックします。
ここでは、1小節目の音色を設定しますので、
[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、
音量を設定する小節の調節バーを調整して、
音量を設定します。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、


ボタンをクリックします。







その他の機能・操作説明

各小節ごとにベースパターンを設定する

2小節ごとにベースパターンを設定します。曲全体のベースパターンを設定する方法は29ページをご覧ください。

ここでは8～25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

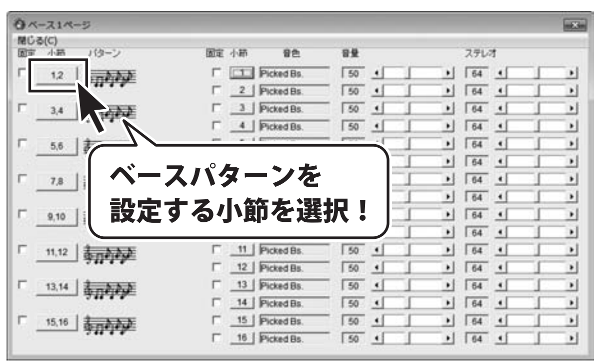
まずは、[小節ごとの設定]メニューから
[ベース]を選択して、ベース画面を表示します。

ベース画面が表示されましたら、
ベースパターンを設定する小節のページを
クリックします。
ここでは、1、2小節目のベースパターンを
設定しますので、[1ページ]をクリックして、
選択します。

ベース1ページ画面が表示されましたら、
ベースパターンを設定する小節をクリックします。
ここでは、1、2小節目のベースパターンを設定
しますので、[1,2]をクリックして、選択します。







ベースパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から1番目のベースパターン]を選択します。

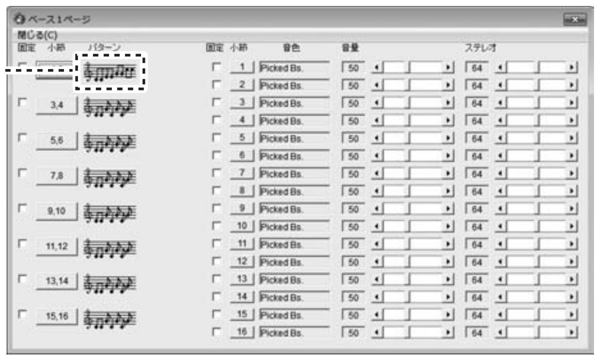
変更するベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ベース1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、


ボタンをクリックします。



ベースパターンが設定されました



その他の機能・操作説明

各小節ごとにドラムパターンを設定する

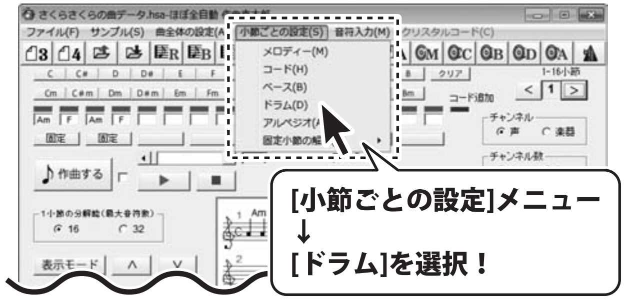
1小節ごとにドラムパターンを設定します。曲全体のドラムパターンを設定する方法は30ページをご覧ください。

ここでは8～25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

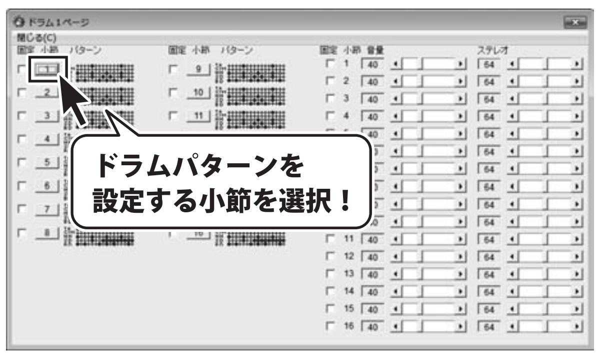
まずは、[小節ごとの設定]メニューから
[ドラム]を選択して、ドラム画面を表示します。

ドラム画面が表示されましたら、
ドラムパターンを設定する小節のページを
クリックします。
ここでは、1小節目のドラムパターンを
設定しますので、[1ページ]をクリックして、
選択します。

ドラム1ページ画面が表示されましたら、
ドラムパターンを設定する小節をクリックします。
ここでは、1小節目のドラムパターンを設定
しますので、[1]をクリックして、選択します。







その他の機能・操作説明

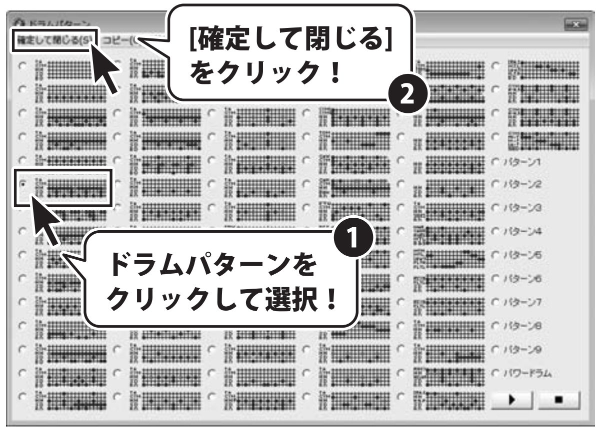
ドラムパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から6番目のドラムパターン]を選択します。

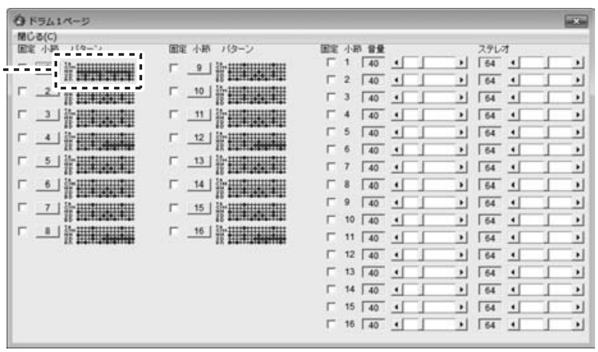
変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ドラム1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、作曲する ボタンをクリックして、

▶ ボタンをクリックします。



ドラムパターンが設定されました



曲全体のアルペジオパターンを設定する

曲全体にアルペジオパターンを設定します。
2小節ごとのアルペジオパターンを設定する方法は50〜51ページをご覧ください。

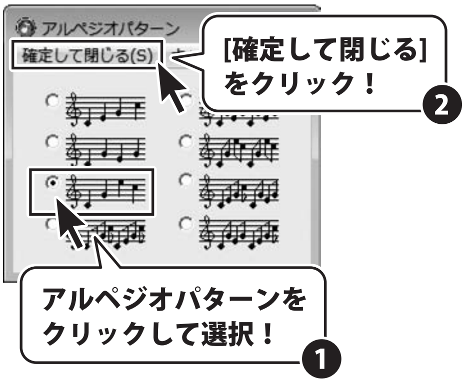
ここでは8〜25ページで作成した「さくらさくら」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [アルペジオ]をクリックします。
アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から3番目のアルペジオパターン]を選択します。

変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。





各小節ごとにアルペジオパターンを設定する

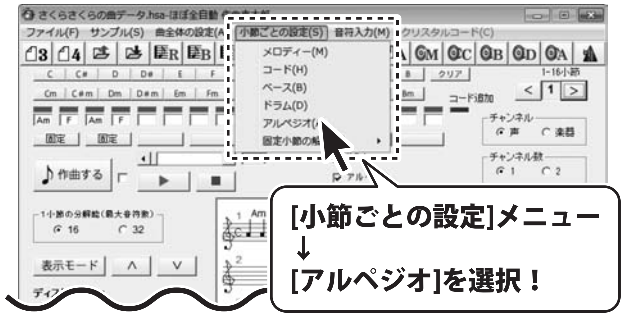
2小節ごとにアルペジオパターンを設定します。
曲全体のアルペジオパターンを設定する方法は49ページをご覧ください。

ここでは8〜25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

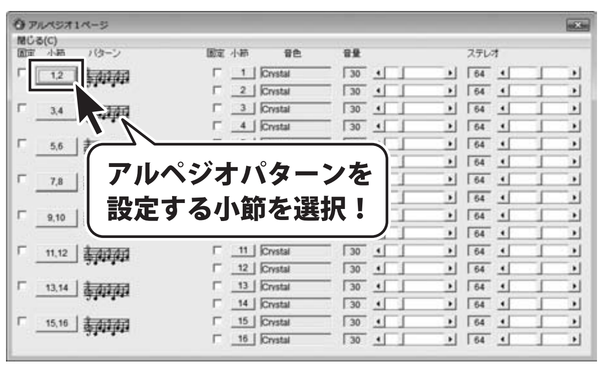
まずは、[小節ごとの設定]メニューから
[アルペジオ]を選択して、アルペジオ画面を
表示します。

アルペジオ画面が表示されましたら、
アルペジオパターンを設定する小節のページを
クリックします。
ここでは、1、2小節目のアルペジオパターンを
設定しますので、[1ページ]をクリックして、
選択します。

アルペジオ1ページ画面が表示されましたら、
アルペジオパターンを設定する小節をクリック
します。
ここでは、1、2小節目のアルペジオパターンを
設定しますので、[1,2]をクリックして、
選択します。







その他の機能・操作説明

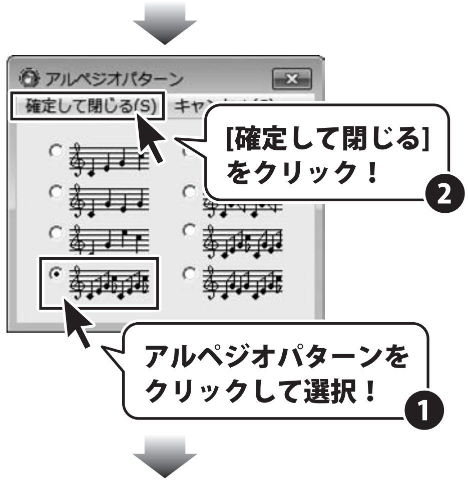
アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から4番目のアルペジオパターン]を選択します。

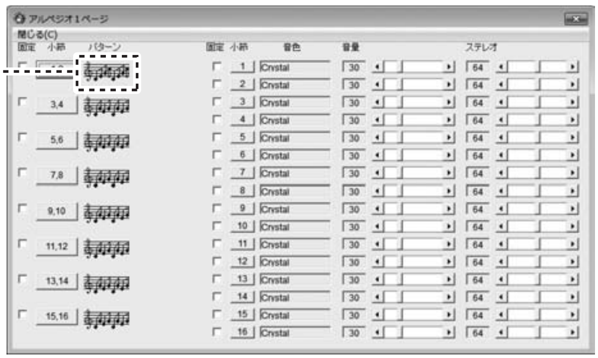
変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、アルペジオ1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、作曲する ボタンをクリックして、


ボタンをクリックします。



アルペジオパターンが設定されました



ステレオの調節で曲全体の音の出る方向を設定する

曲全体の音の出る方向を設定します。
1小節ごと、または2小節ごとにステレオの調整を行う方法は53ページをご覧ください。

ここでは8〜25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [メロディー]→
ステレオの調節を行うパートをクリックします。
ここでは、[メロディー]を選択します。

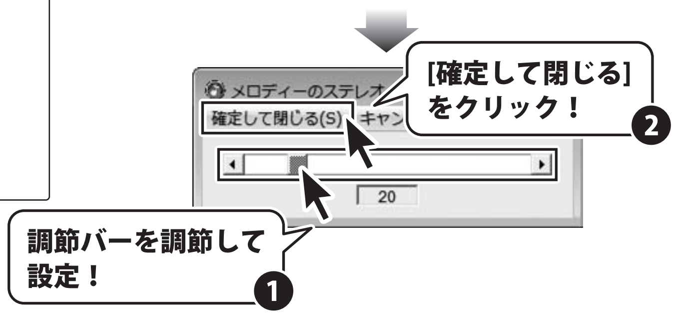
メロディーのステレオ画面が表示されましたら、
調節バーを調整して設定します。
ここでは、[20]に設定します。

[確定して閉じる]をクリックして、
メロディーのステレオ画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、

▶ ボタンをクリックします。





ステレオの調節で各小節の音の出る方向を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音の出る方向を設定します。
曲全体のステレオの調整を行う方法は52ページをご覧ください。

ここでは8〜25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

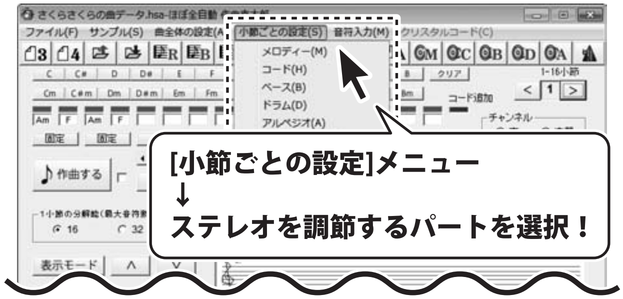
まずは、[小節ごとの設定]メニューから
ステレオの調節を行うパートを選択します。
ここでは、[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、
ステレオの調節を行う小節のページをクリック
します。
ここでは、1小節目のステレオを調整しますので、
[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、
ステレオを調節する小節の調節バーを調整して、
ステレオの調節を行います。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、


ボタンをクリックします。







ドラムパターンを編集する

47種類の打楽器を組み合わせてドラムパターンを作ることができます。

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]をクリックします。
ドラムパターン画面が表示されます。

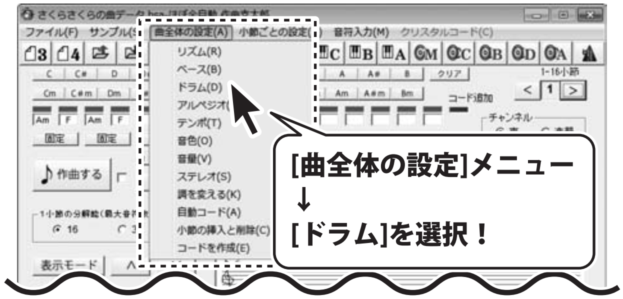
ドラムパターン画面が表示されましたら、[ドラムパターンを編集]をクリックします。
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

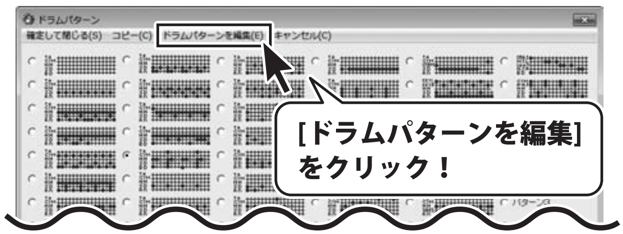
ドラムパターンは、パターン1〜パターン3まで、初期設定でサンプルのドラムパターンが設定されています。
ここでは、パターン1をコピーして、パターン4に貼り付け、コピーして貼り付けたパターン1をアレンジして、オリジナルのドラムパターンをパターン4に作成、保存します。

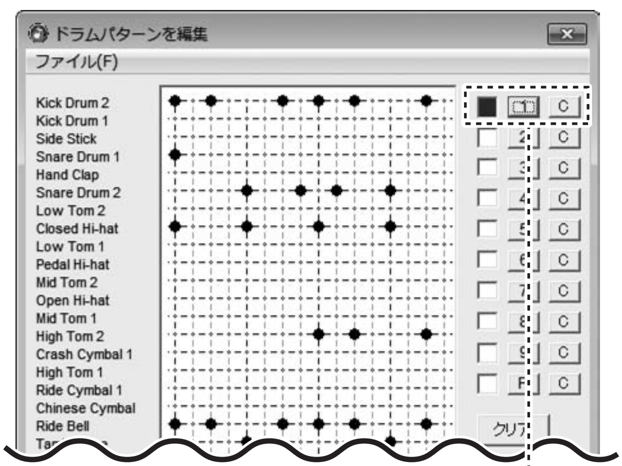
まずは、パターン1をコピーします。

1 ボタンをクリックして選択すると、エディット表示エリアにパターン1に設定されているサンプルのドラムパターンが表示されます。

パターン1のドラムパターンを選択しましたら、C ボタンをクリックして選択したパターン1のドラムパターンをコピーします。
1 ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、パターン1のドラムパターンがコピーされます。







① 1 ボタンをクリックして、パターン1を選択！

② C ボタンをクリックして、パターン1をコピー！

1 C

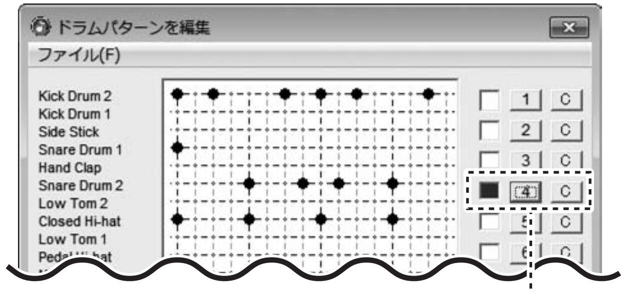
コピーされると、赤い表示になります。

次に、
コピーしたドラムパターンをパターン4に
貼り付けます。

4 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示が青くなり、エディット表示エリアにパターン1のドラムパターンがコピーされました。

エディット編集エリアは、
縦軸が「楽器」で、横軸が「時間」を表しています。
交点をクリックすると、黒点が表示されます。
もう一度クリックすると、黒点が消えます。
黒点で音を設定します。

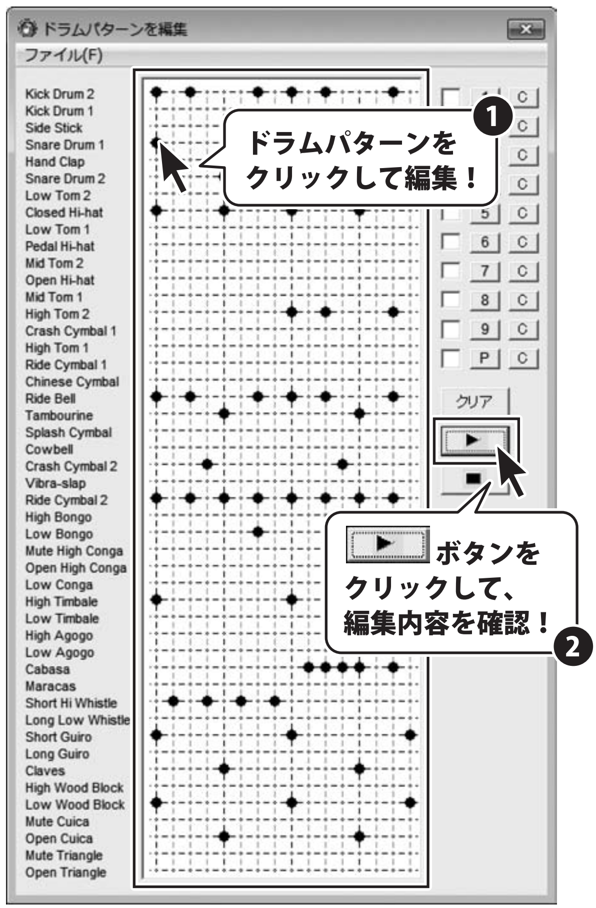
編集したドラムパターンを視聴したい時は、
▶ ボタンをクリックして、
編集内容を確認します。



③ 4 ボタンをクリックして、コピーしたドラムパターンを貼り付け！

4 C

貼り付けされると、青い表示になります。



その他の機能・操作説明

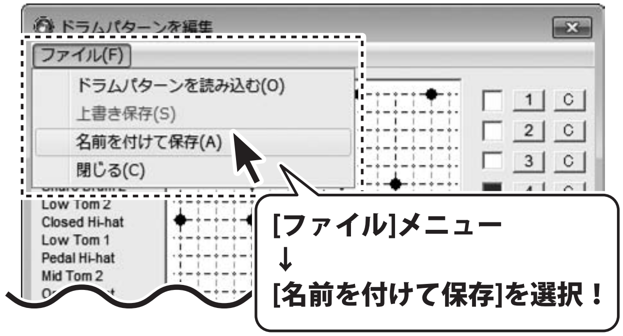
ドラムパターンを作成しましたら、
ドラムパターンを保存します。

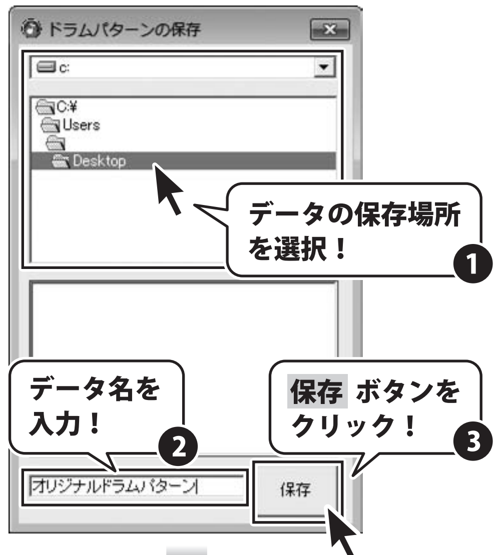
[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.de4」になります。

ドラムパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ドラムパターンの編集画面を閉じます。





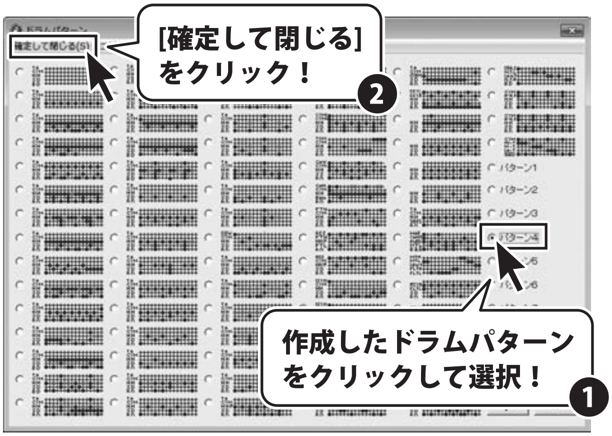


その他の機能・操作説明

作成したドラムパターンを曲全体に設定する
場合は、
作成したドラムパターンの○をクリックして
選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。



パワードラムを設定する

パワードラムとは、複雑なドラムパターンを自動的に作成する機能です。
非常に強力なリズムを作ることができます。

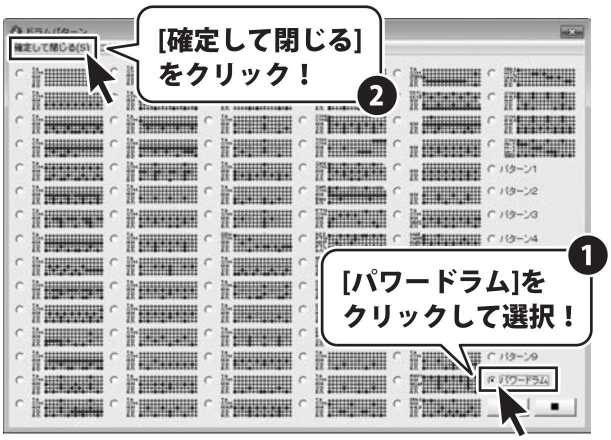
[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。
ドラムパターン画面が表示されます。

[パワードラム]の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、

▶ ボタンをクリックします。





パワードラムをデータとして保存する

58ページの操作手順でパワードラムを設定して、自動作成されたパワードラムをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワードラムのパターンデータを使用できます。

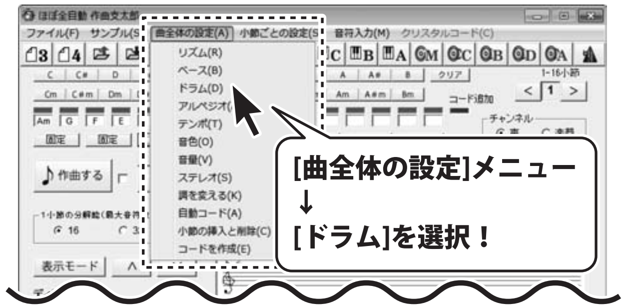
[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]をクリックします。
ドラムパターン画面が表示されます。

ドラムパターン画面が表示されましたら、
[ドラムパターンを編集]をクリックします。
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

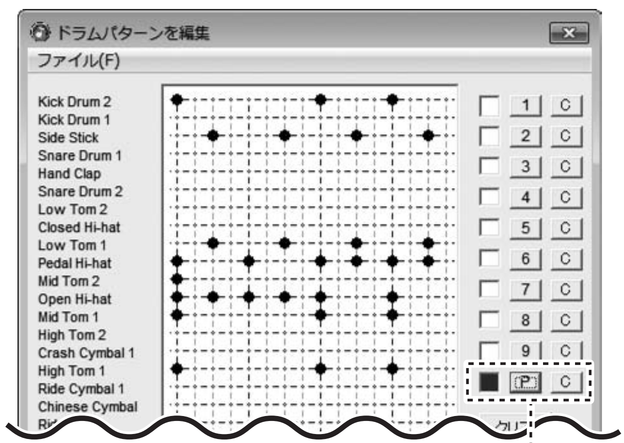
まずは、データとして保存するパワードラムパターンをコピーします。

P ボタンをクリックして選択すると、
エディット表示エリアにパワードラムパターンに設定されているパワードラムパターンが表示されます。

パワードラムパターンを選択しましたら、
C ボタンをクリックして選択した
パワードラムパターンをコピーします。
P ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パワードラムパターンがコピーされます。







① P ボタンをクリックして、パワードラムを選択！

② C ボタンをクリックして、パワードラムをコピー！

P C

コピーされると、赤い表示になります。

次に、
コピーしたパワードラムパターンをパターン5に貼り付けます。

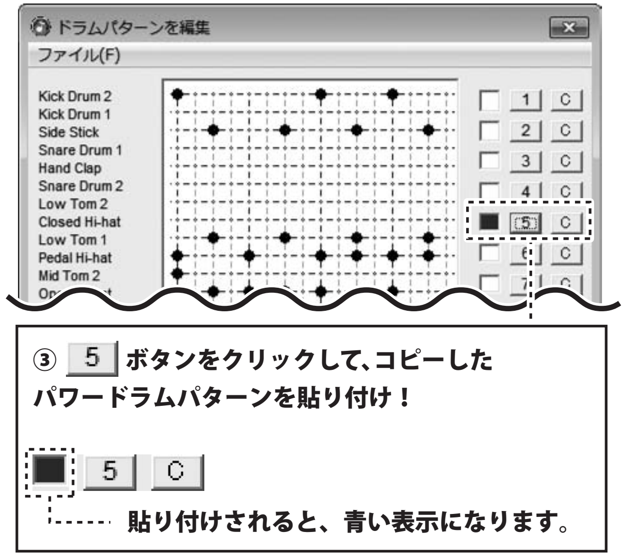
5 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示が青くなり、エディット表示エリアにパワードラムパターンがコピーされました。

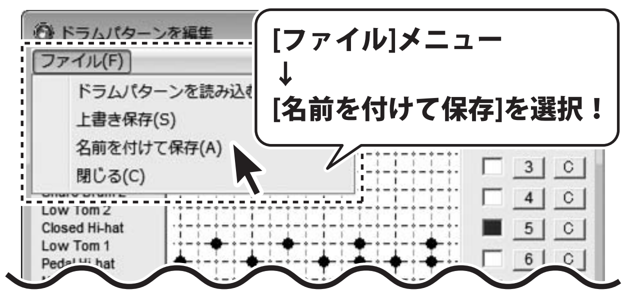
コピーしたパワードラムパターンを保存します。

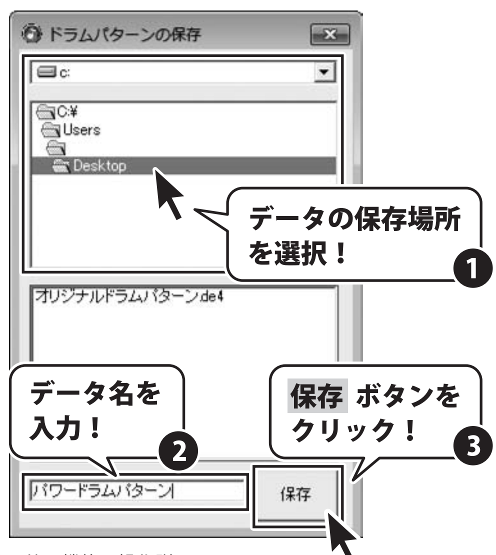
[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.de4」になります。







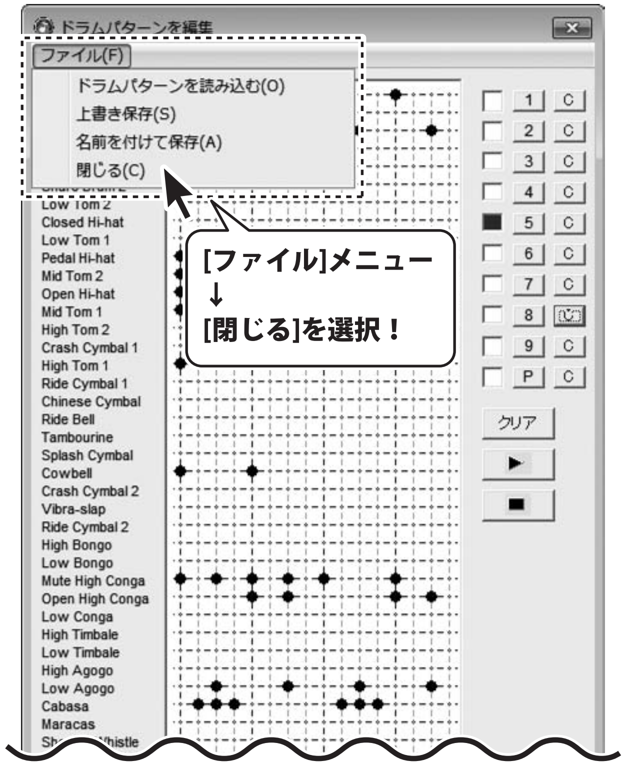
ドラムパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ドラムパターンを編集画面を閉じます。

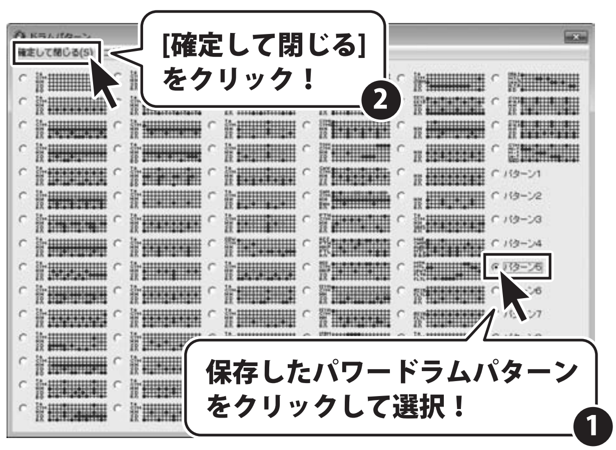
保存したパワードラムパターンを曲全体に設定する場合は、
作成したドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。





その他の機能・操作説明

パワーベースを設定する

パワーベースとは、複雑なベースパターンを自動的に作成する機能で非常に強力なベースラインを作ります。

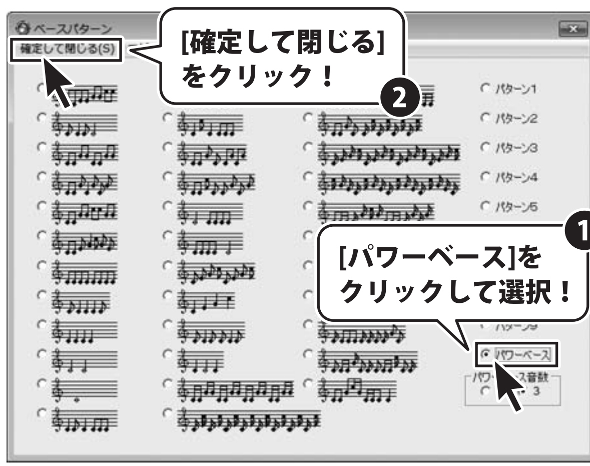
[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。
ベースパターン画面が表示されます。

[パワーベース]の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。





その他の機能・操作説明

パワーベースをデータとして保存する

62ページの操作手順でパワーベースを設定して、自動作成されたパワーベースをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワーベースのパターンデータを使用できます。

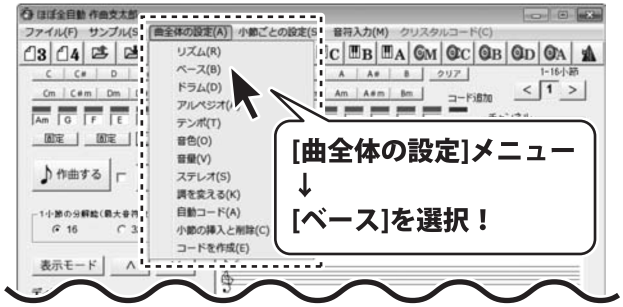
[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。
ベースパターン画面が表示されます。

ベースパターン画面が表示されましたら、
[ベースパターンを編集]をクリックします。
ベースパターンを編集画面が表示されます。

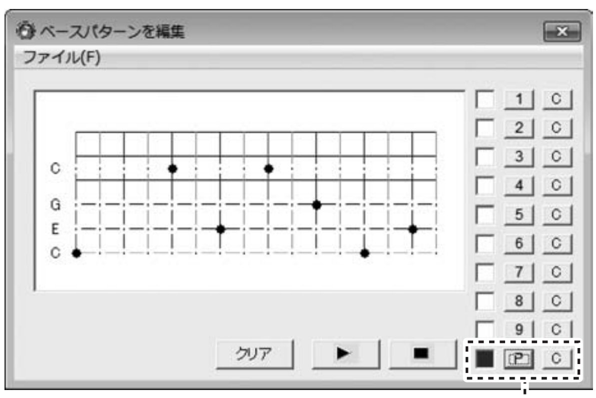
まずは、データとして保存するパワーベースパターンをコピーします。

P ボタンをクリックして選択すると、
エディット表示エリアにパワーベースパターンに設定されているパワーベースパターンが表示されます。

パワーベースパターンを選択しましたら、
C ボタンをクリックして選択した
パワーベースパターンをコピーします。
P ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パワーベースパターンがコピーされます。







① P ボタンをクリックして、パワーベースを選択！

② C ボタンをクリックして、パワーベースをコピー！

P C

コピーされると、赤い表示になります。

その他の機能・操作説明

次に、
コピーしたパワーベースパターンをパターン5に貼り付けます。

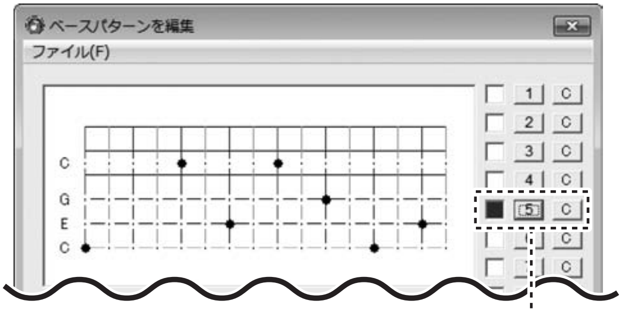
5 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示が青くなり、エディット表示エリアに
パワーベースパターンがコピーされました。

コピーしたパワーベースパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ベースパターンの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

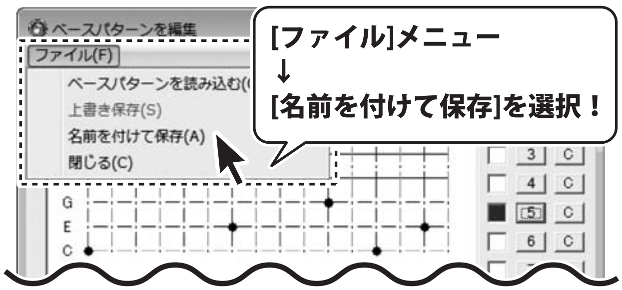
データの保存形式は「.be4」になります。

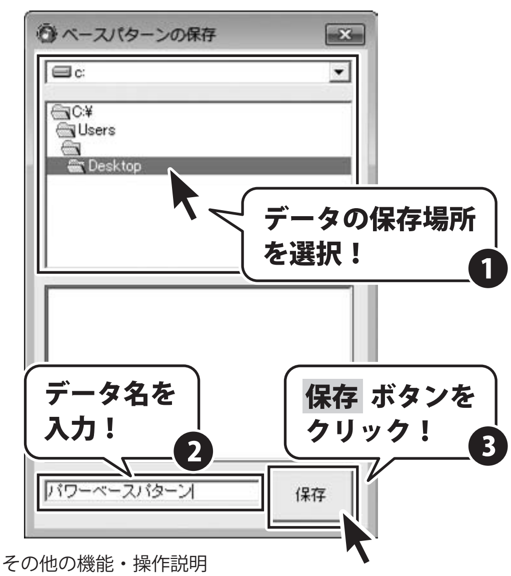


③ 5 ボタンをクリックして、コピーした
パワーベースパターンを貼り付け！

5 C

貼り付けされると、青い表示になります。





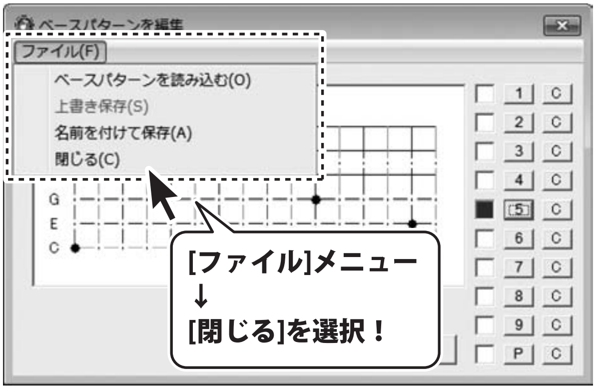
その他の機能・操作説明

ベースパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ベースパターンを編集画面を閉じます。

保存したパワーベースパターンを曲全体に設定する場合は、
作成したベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、

▶ ボタンをクリックします。





その他の機能・操作説明

歌詞を音符に1つずつ設定する

歌詞を入力する方法は、「歌詞2小節分を一度にすべて入力する方法」と「歌詞を音符に1つずつ入力する方法」の2つの方法があります。ここでは「歌詞を音符に1つずつ入力する方法」を説明します。
「歌詞2小節分を一度にすべて入力する方法」の詳細は18〜21ページをご覧ください。

ここでは8〜25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

[音符入力]メニューをクリックして、
音符入力画面を表示します。

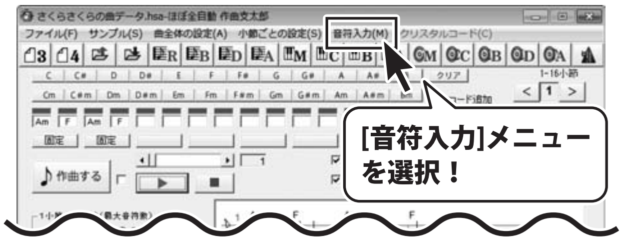
ここでは、1〜2小節の歌詞を入力します。

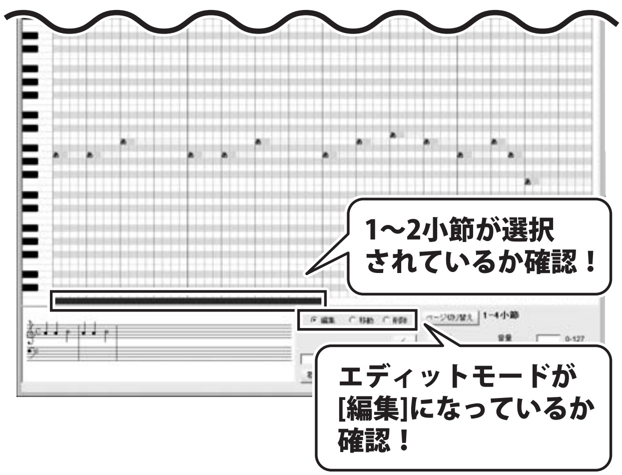
歌詞を入力する前に、以下の点を確認します。

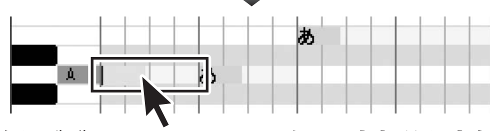
・1〜2小節の音符が編集できるように、1〜2小節が選択されているか
1〜2小節の欄の下に青いバーが表示されていれば、選択されています。
・エディットモードが[編集]になっているか

次に、各音符に歌詞を入力します。

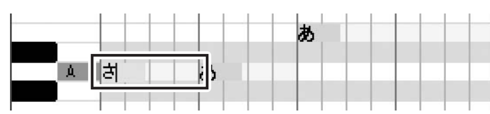
歌詞を入力したい音符をダブルクリックします。
歌詞の入力部分が水色に変わりましたら、
水色の部分をにカーソルが点滅していることを
確認して、歌詞を入力します。
入力が完了しましたら、エディット表示エリアの音符が入力されていない部分をダブルクリックしますと、歌詞の入力を完了します。



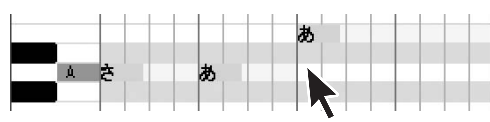




音符をダブルクリックして、歌詞入力部分を水色に！



音符に歌詞を入力！



音符が入力されていない部分をダブルクリック！

クリスタルコードを作成する

クリスタルコードは、曲に透明感のあるダイナミックなコード（和音）をつけることができる機能です。

ここでは8〜25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

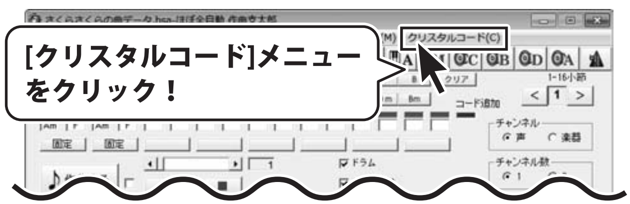
作曲が終わりましたら、
ＷＡＶＥ作成 ボタンをクリックしますと、
ＷＡＶＥファイルが作成され、
クリスタルコードが使用できるようになります。

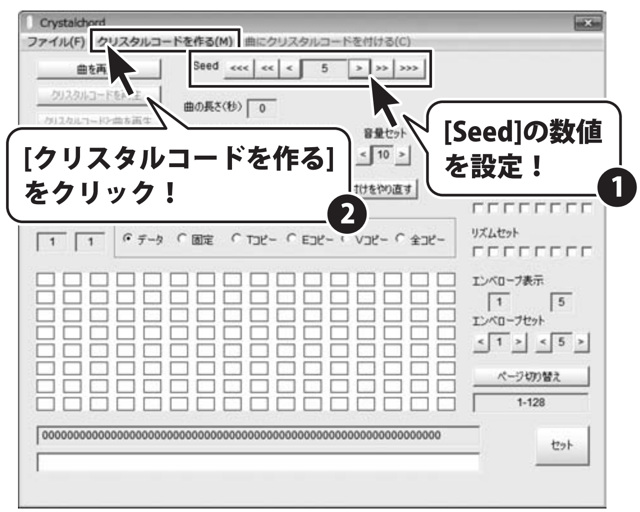
メイン画面の[クリスタルコード]メニューを
クリックして、Crystalchord画面を表示します。

クリスタルコードの音色は無数あり、[Seed]の
数値を変更していくことで、クリスタルコード
の音色を変更することができます。
音色は小節ごとにセットされ、4小節の場合は
4つの音色が作成されます。

まずは、曲につけるクリスタルコードを
選択します。
[Seed]の数値を設定して、
（ここでは、[5]を使用します）
[クリスタルコードを作る]をクリックします。
クリスタルコードの作成が終わると、自動で
作成したクリスタルコードが再生されます。







その他の機能・操作説明

クリスタルコードを作成しましたら、
曲にクリスタルコードを設定します。

[曲にクリスタルコードを付ける]をクリックしてください。

クリスタルコードが曲に設定されると、自動で作成した曲とクリスタルコードが再生されます。

クリスタルコードのすべての設定が
終わりましたら、[ファイル]メニュー→[終了]をクリックして、Crystalchord画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。





memo

クリスタルコードの各項目の設定

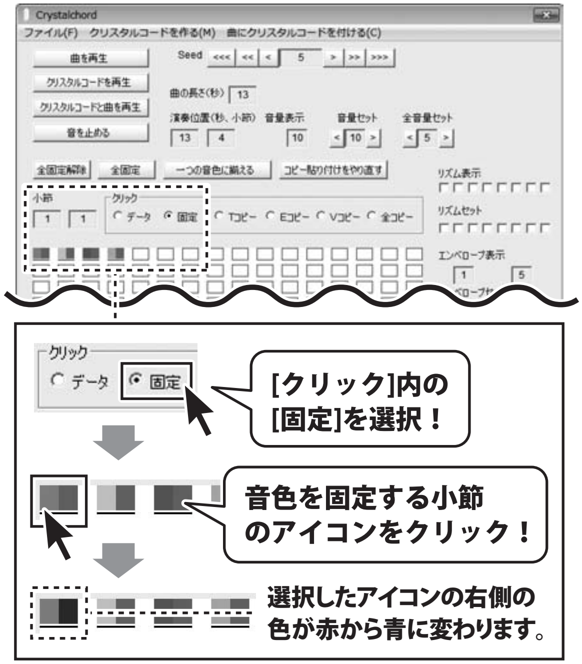
現在表示されているクリスタルコードの音色を固定する

例として、1小節目の音色を固定します。

[クリック]内の[固定]にチェックを入れて、
1小節目のアイコンをクリックします。

1小節目のアイコンの右側の色が赤から青に
変わります。
（赤色は固定されてない状態、青色は固定された状態を表します）

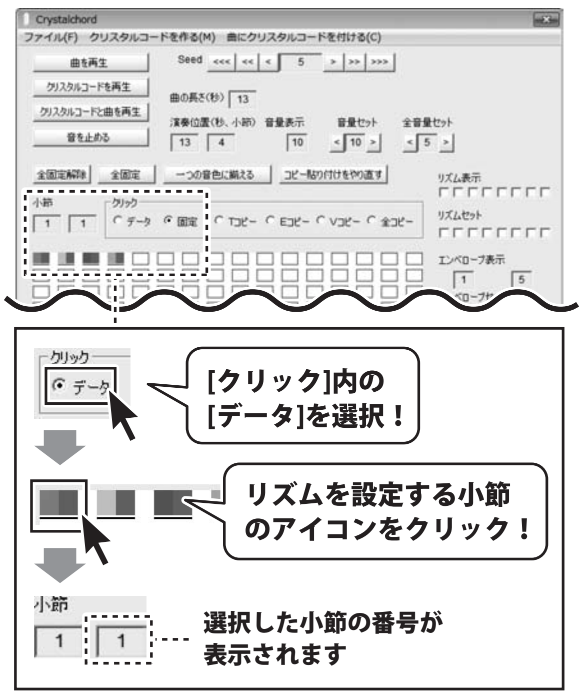
1小節目を固定して、[Seed]の数値を変更、
[クリスタルコードを作る]をクリックすると、
1小節目の音色は固定されているので、変更されません。
2小節目以降は音色が変更されます。



クリスタルコードのリズムを設定する

例として、1小節目のリズムを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、
1小節目のアイコンをクリックします。



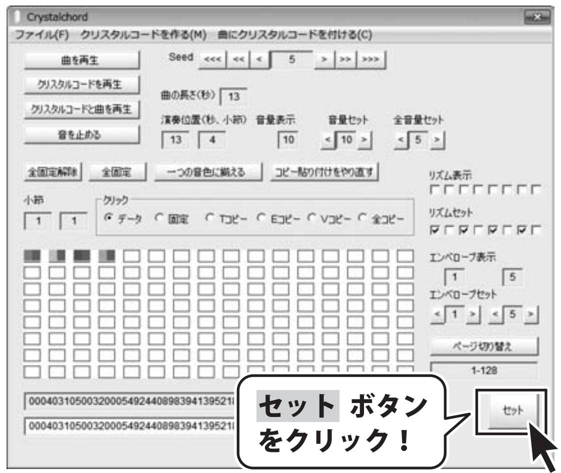
リズムを設定するアイコンを選択しましたら、リズムを設定します。

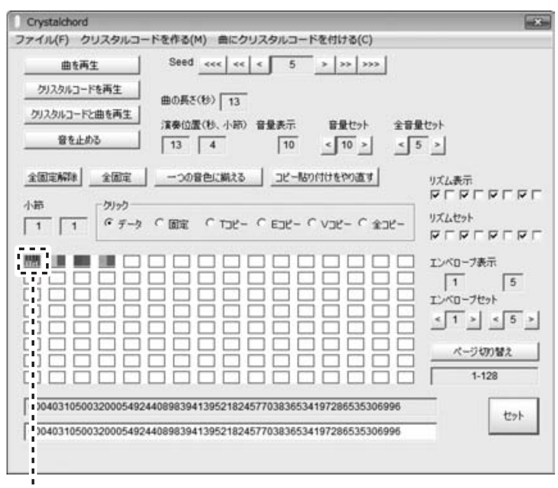
[リズムセット]内のチェックボックスをクリックして、チェックの有無でリズムを設定します。

リズムの設定が終わりましたら、セット ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックしてクリスタルコードに設定を適用します。







選択した小節にリズムが設定されました

その他の機能・操作説明

クリスタルコードのエンベロープを設定する

例として、1小節目のエンベロープを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、
1小節目のアイコンをクリックします。

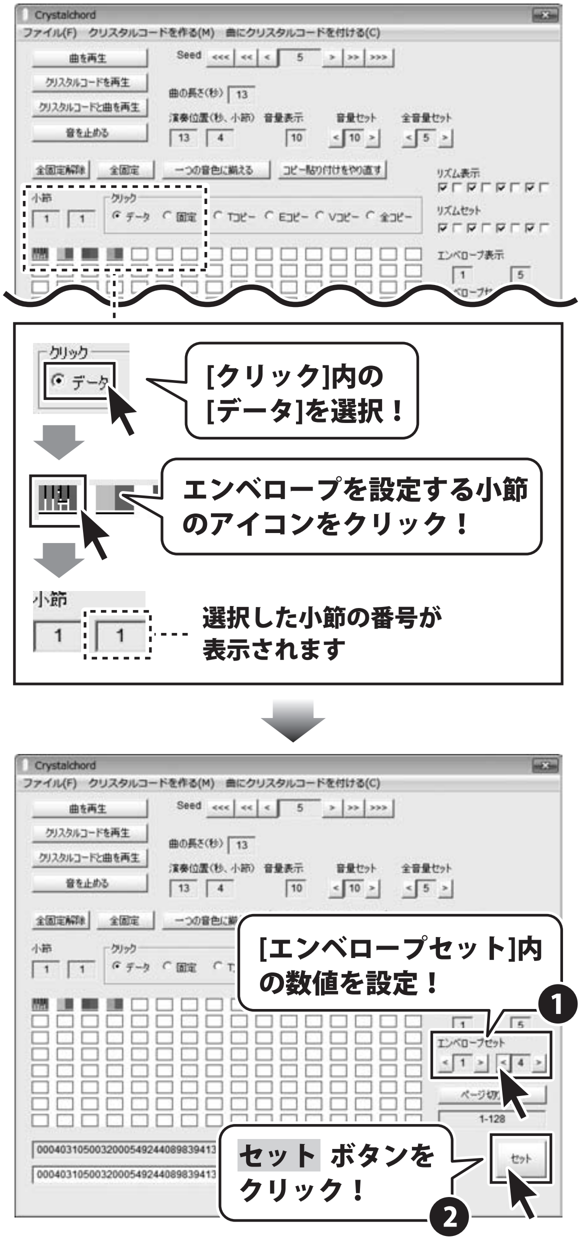
エンベロープを設定するアイコンを
選択しましたら、エンベロープを設定します。

[エンベロープセット]内の数値を変更して、
エンベロープを設定します。

エンベロープの設定が終わりましたら、
セット ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックして
クリスタルコードに設定を適用します。

※エンベロープは、リズムが設定されている場合に有効になります。

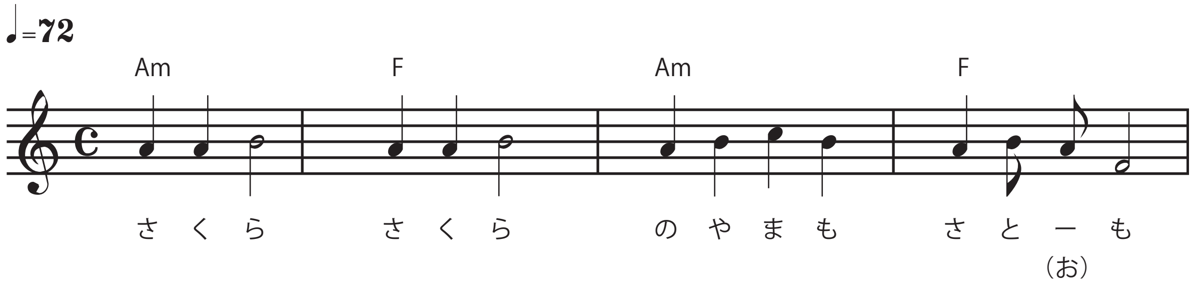


その他の機能・操作説明
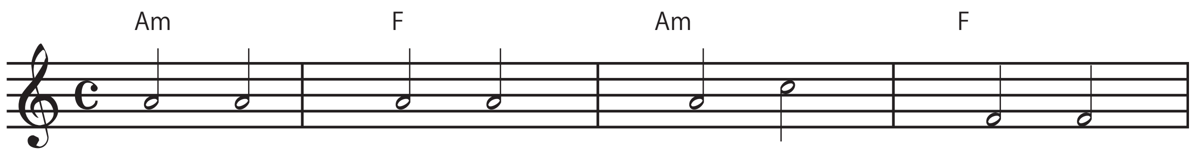
楽器チャンネルを設定する

メロディーとして[声]とあわせて、[楽器]を設定することができます。

8～25ページで作成した「さくらさくら」の[声]のメロディーの楽譜です。



これから、下図の楽譜を[楽器]のメロディーとして設定します。



ここでは8～25ページで作成した「さくらさくら」4小節に[楽器]チャンネルを設定する方法を説明します。

まず、作曲する ボタンをクリックして、ＭＩＤＩファイルを作成します。

次に、[楽器]チャンネルを設定する画面に切り替えます。

メイン画面で[チャンネル数]内の[2]をクリックして選択し、[チャンネル]内の[楽器]をクリックします。

[楽器]チャンネルを設定する画面に切り替わりましたら、音符画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

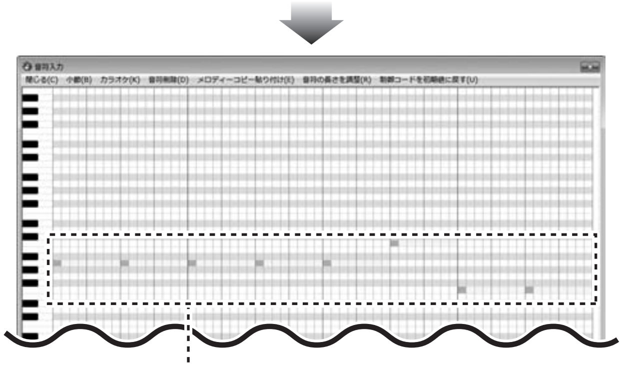


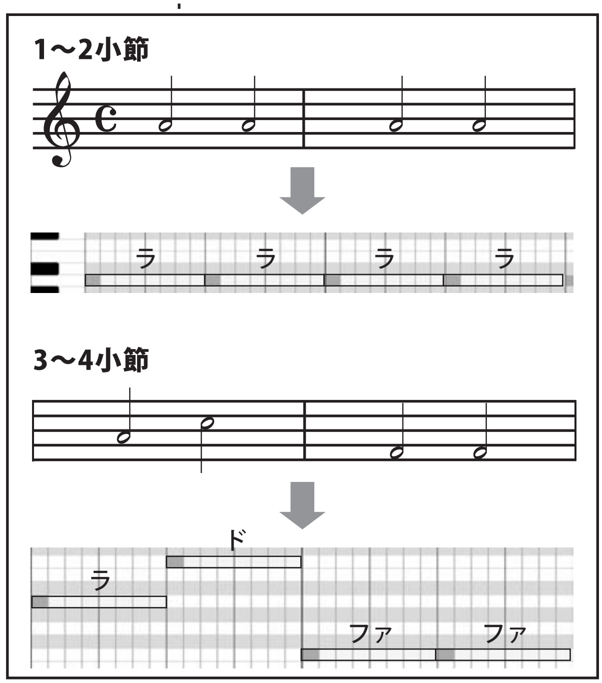


音符画面が表示されましたら、
[楽器]チャンネルの音符を入力します。

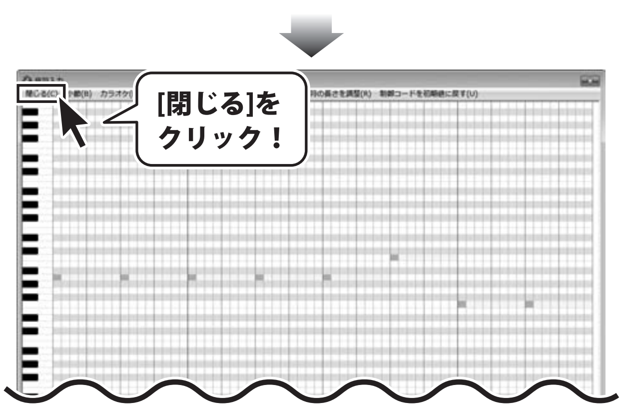
10〜15ページの操作手順で右図のように音符を入力します。

すべての音符入力が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、
音符入力画面を閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に反映されます。





上記のように音符を入力します。



その他の機能・操作説明

音符入力が終わりましたら、
[楽器]チャンネルの音色を設定します。

[曲全体の設定]メニュー → [音色]→[メロディー]
をクリックします。
メロディーの音色画面が表示されます。

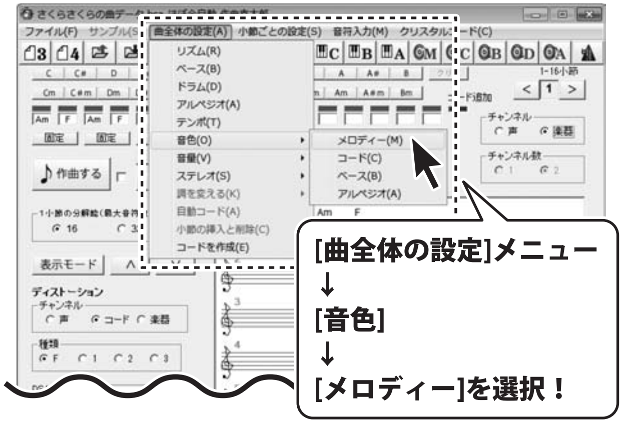
ここでは、[Organ 1]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻りましたら、
作成した[楽器]チャンネルを適用した
ＷＡＶＥファイルを作成して、曲を確認します。

[チャンネル]内の[声]を選択し、
ＷＡＶＥを作成 ボタンをクリックして、
ＷＡＶＥファイルが作成されましたら、


ボタンをクリックします。







その他の機能・操作説明

連続した小節の音色をまとめて変更する

連続した小節の音色を一度に変更することができます。

ここでは8～25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから
音色を設定するパートを選択します。
ここでは、[メロディー]を選択します。

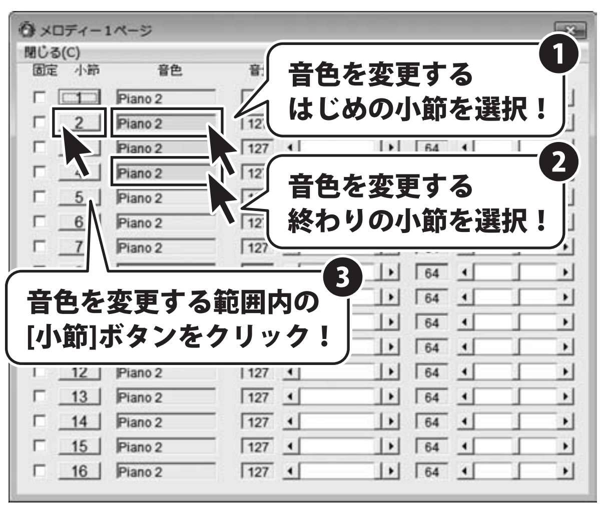
メロディー画面が表示されましたら、
音色を設定する小節のページをクリックします。
ここでは、2～4小節目の音色を設定しますので、
[1ページ]をクリックして、選択します。

メロディー1ページ画面が表示されましたら、
音色を変更する最初の小節をクリックし、
次に最後の小節をクリックします。
小節をクリックして選択すると、[音色の枠内]が
水色で表示されます。
音色を変更する小節の範囲を設定できましたら、
選択した小節の範囲内の[小節]ボタンを
クリックします。

ここでは、2～4小節目の音色を設定しますので、
[2]をクリックした後、[4]をクリックして
選択します。







その他の機能・操作説明

メロディーの音色画面が表示されます。

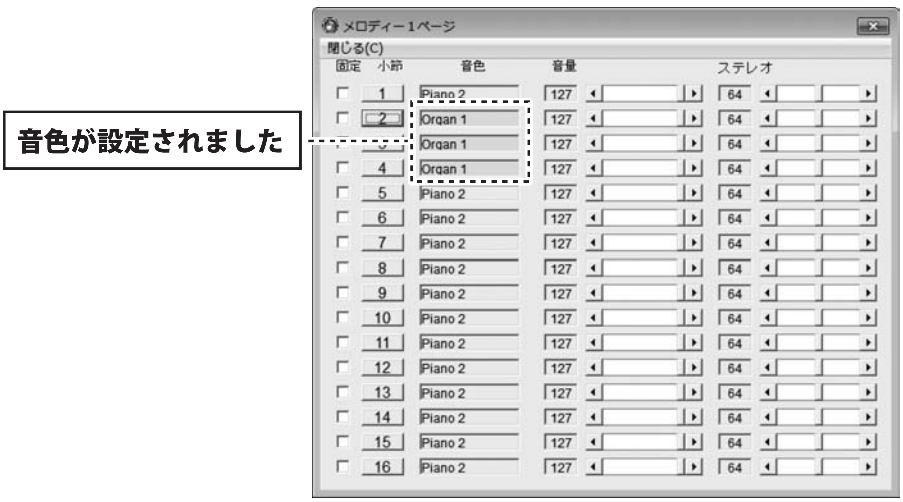
初期設定では、[Piano 2]が選択されています。
ここでは、[Organ 1]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メロディー1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲する ボタンをクリックして、

▶ ボタンをクリックします。





その他の機能・操作説明

コードを作成する

最初から登録されているコード以外に、コードを自由に作成して使用することができます。

[曲全体の設定]メニュー → [コードを作成]を
クリックします。
コードを作成画面が表示されます。

コードは、初期設定でコード番号0～1に
サンプルのコードが設定されています。

ここでは、例として、コード番号[2]に
コード「C6」を作ります。

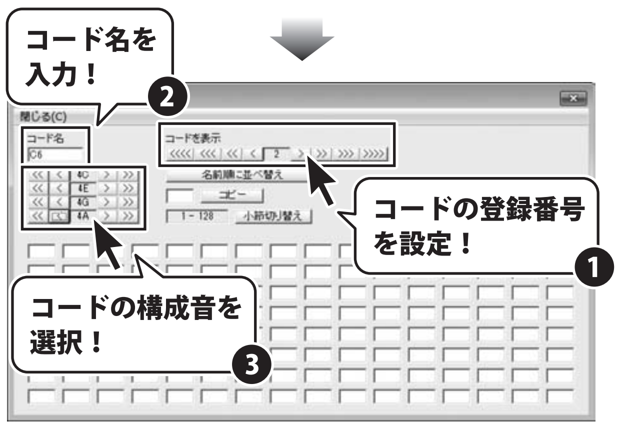
[コードを表示]内の＜　＞ボタンをクリック
して、コードを登録する番号を選択します。
ここでは、コード番号[2]を選択します。

コード番号を選択しましたら、
[コード名]にコードの名前を入力します。
ここでは、コード「C6」を入力します。

コード名を入力できましたら、
コードの構成音を
＜　＞ボタンをクリックして設定します。
ここでは、「4C、4E、4G、4A」を設定します。

コードが作成できましたら、
[閉じる]をクリックしますと、メイン画面に
戻ります。







memo

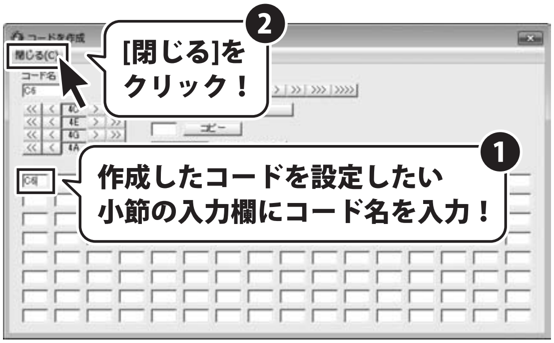
作成したコードを楽譜に設定する

ここでは、作成したコード「C6」を1小節目に設定する方法を説明します。

図のように、
1小節の入力欄に「C6」を入力します。

入力欄にマウスカーソルをあわせると、マウスカーソルの位置にある入力欄の小節番号が表示されます。
入力したコードは、メイン画面で設定したコードと置き換わります。
入力欄内のコード名を削除すると、メイン画面で設定したコードで演奏されます。

設定が終わりましたら、
[閉じる]をクリックしますと、メイン画面に戻ります。

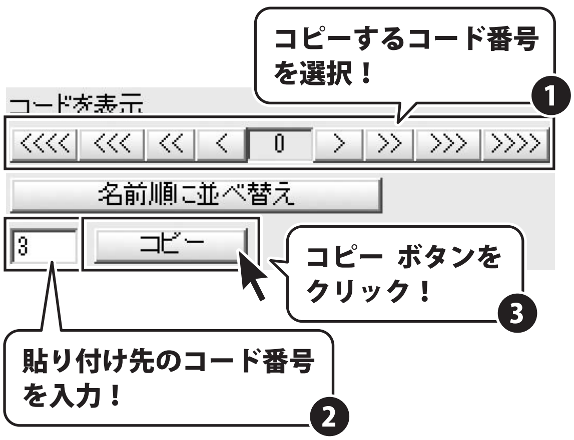


memo

作成したコードをコピーする

作成したコードをコピーして、別のコード番号に貼り付けすることができます。

[コードを表示]欄で＜　＞ボタンをクリックして、コピーするコード番号を選択しましたら、貼り付け先の番号を入力欄に入力して、
コピー ボタンをクリックしますと、
表示されているコード番号のコードが
コピーされ、入力したコード番号に貼り付けされます。



その他の機能・操作説明

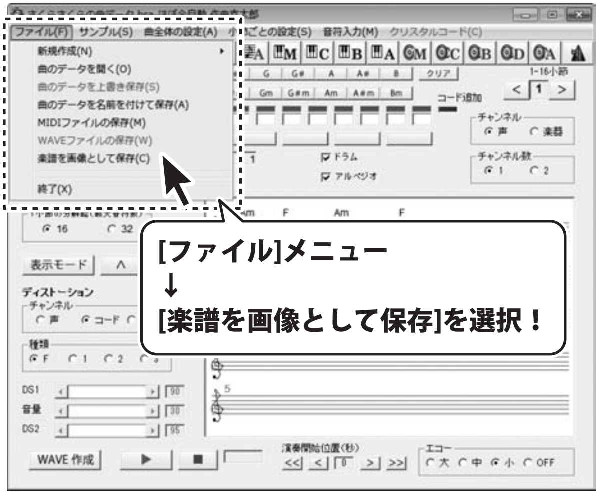
楽譜を画像として保存する

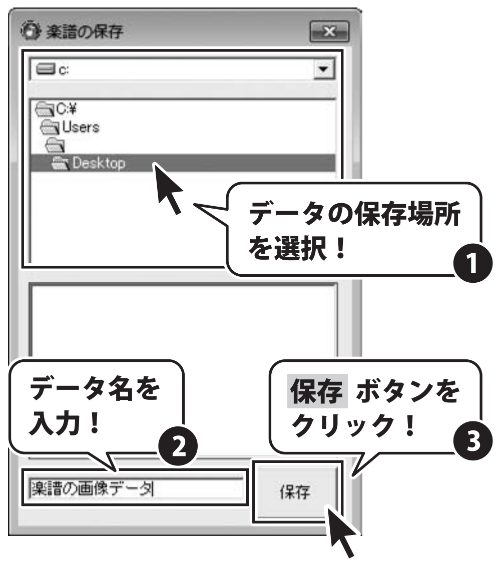
ここでは8〜25ページで作成した
「さくらさくら」4小節を例に説明します。

[ファイル]メニュー →
[楽譜を画像として保存]を選択します。

楽譜の保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.bmp」になります。



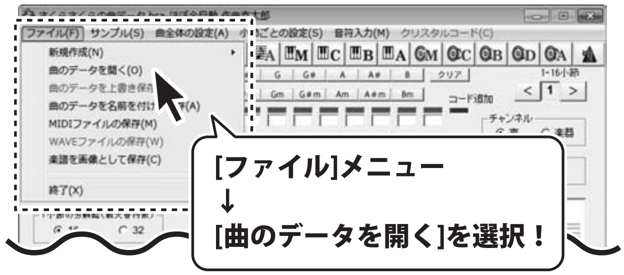


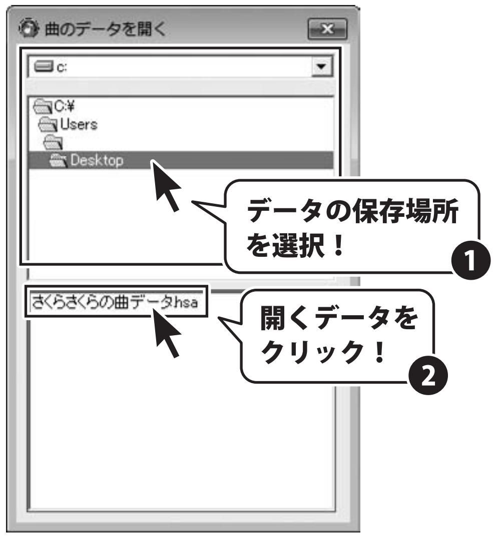
その他の機能・操作説明

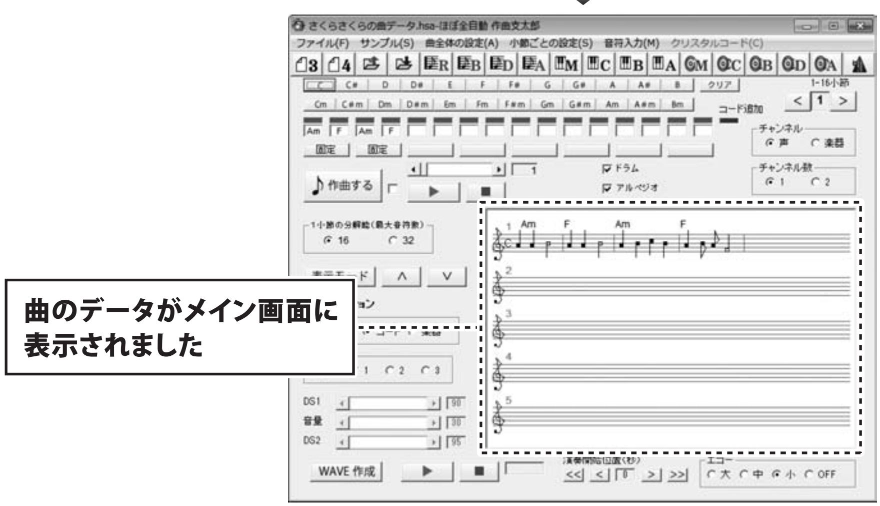
作成、保存した曲のデータを開く

[ファイル]メニュー →
[曲のデータを開く]を選択します。

曲のデータを開く画面が表示されますので、
データが保存されている場所を選択して、
開くデータをクリックしますと、
メイン画面に曲のデータが表示されます。





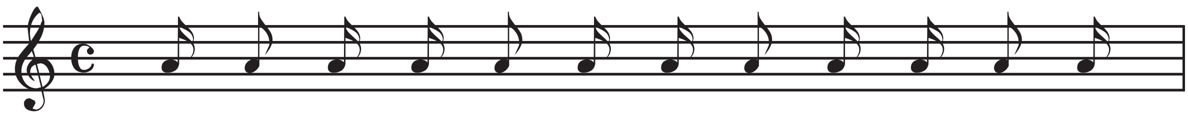


その他の機能・操作説明

三連符を作成する

音符の長さを調整画面の機能を使って、音符の長さを少しだけ短く、または長くすることで、
三連符を作ることができます。

下記のように1小節分の音符を入力して、三連符を作成します。



まずは、音符入力画面を表示します。

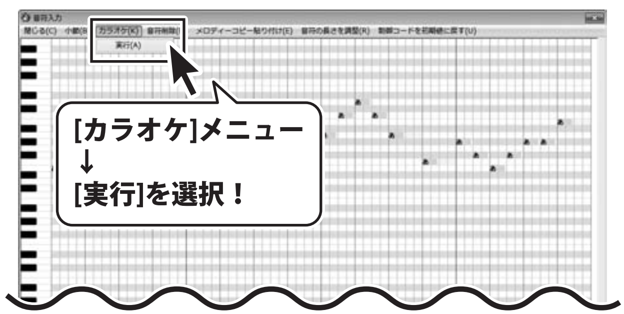
[音符入力]メニューをクリックします。

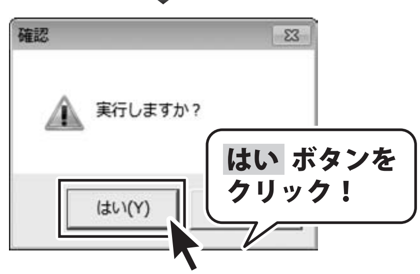
音符入力画面が表示されましたら、
楽譜に入力された自動で作曲したサンプルの
音符をすべて削除します。

[カラオケ]メニューから[実行]をクリックします。
確認画面が表示されますので、内容を確認して
はい ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。







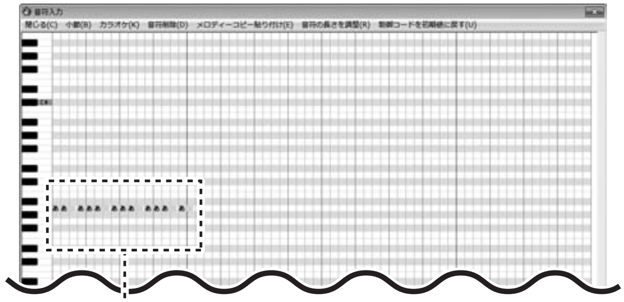
音符画面に入力されていた音符がすべて削除されましたら、三連符を作成する音符を入力します。

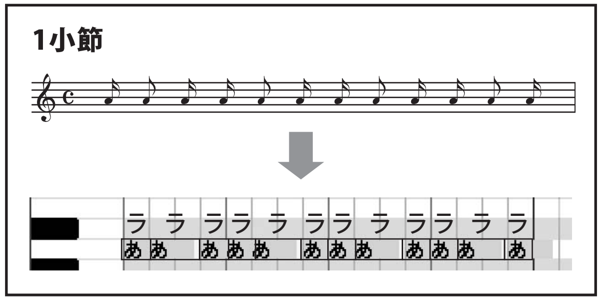
10〜15ページの操作手順で右図のように音符を入力します。

すべての音符入力が終わりましたら、
音符入力画面の[音符の長さを調整]をクリックして、音符の長さを調整画面を表示します。

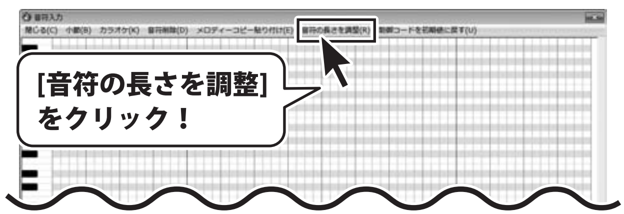
音符の長さを調整画面で音符1つ1つの長さ（音符の音の再生位置）を微妙に調整することで、三連符を作成することができます。

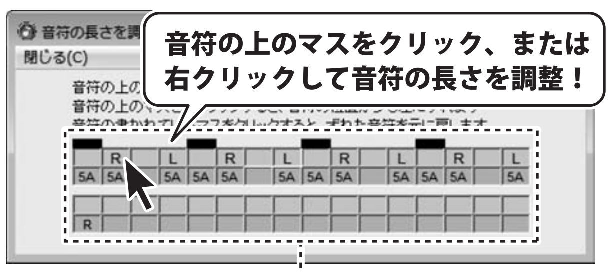
ここでは右図のように、
最初の8分音符を右に長くして、
（音符の再生が少し遅くなります）
次の16分音符を左に長く設定することで、
（音符の再生が少し速くなります）
並んだ3つの音符で三連符を作成します。
その操作を繰り返して、三連符を連続して作成していきます。

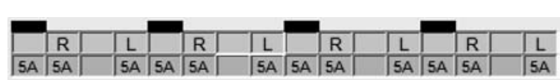




上記のように音符を入力します。





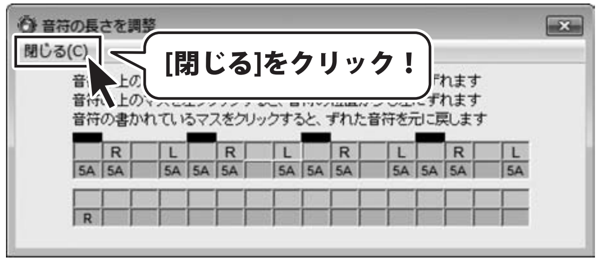


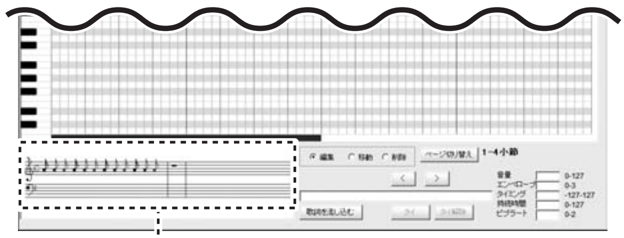
上記のように、隣り合った8分音符と16分音符を近付ける感じで、音符の長さを調整します！

その他の機能・操作説明

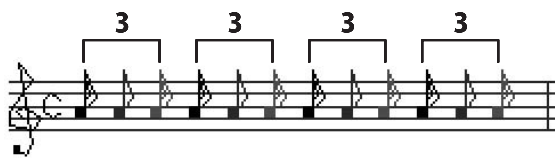
すべての音符の長さの調整が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、音符の長さを調整画面を閉じます。
設定した音符の長さが音符入力画面の五線譜に反映されます。

すべての設定が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、音符入力画面を
閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に反映されます。

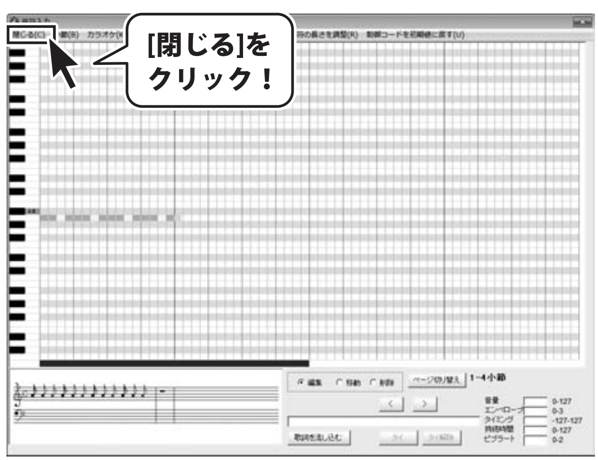




設定した音符の長さが適用されました！



左に調整した音符は紫、
右に調整した音符は緑で表示されます。



ソフトウェアをダウンロードする

「ほぼ全自動 作曲支太郎」を購入し、ユーザー登録をしていただいたお客様には、
弊社ホームページから「ほぼ全自動 作曲支太郎」を5回までダウンロードすることができます。
ネットブックご利用のお客様、CD、DVDドライブがないパソコンをご利用のお客様はソフトウェアをダウンロードしてお使いいただくことができます。

■ユーザー登録時のメールアドレスが必要です。
■製品のシリアルナンバーをご用意ください。

※ダウンロードとはお客様のパソコンに外部のファイルが保存されることをいいます。
※ユーザー登録がお済みでない場合には、弊社ホームページからユーザー登録を行ってください。
※本サービスは、サービスの一部または全てを終了することがあります。
これによりユーザーおよび第三者に損害が生じた場合、理由の如何を問わず一切の責任を負わないものとします。

1 弊社のホームページを表示します

お使いのブラウザーを起動して、アドレス欄に弊社ホームページのURL
http://www.de-net.com/
を入力します。（ここでは、Internet Explorerを例に説明します）



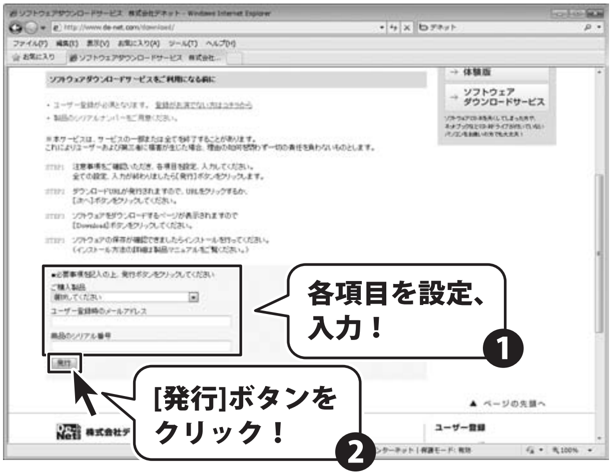
2 「ユーザー向けソフトダウンロード」ページを表示します

弊社のホームページが表示されましたら、[サポート]ボタンをクリックし、表示されるページの[ソフトウェアダウンロードサービス]ボタンをクリックしてください。



3 「ユーザー向けソフトダウンロード」ページ内の各項目を設定、入力します

ユーザー向けソフトダウンロードページが表示されましたら、注意事項を確認し、各項目を設定、入力してください。
すべての設定、入力が終わりましたら、[発行]ボタンをクリックします。

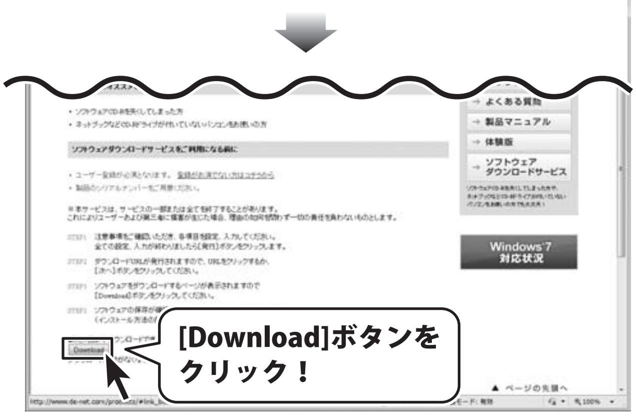


4 ファイルをダウンロードします

ダウンロードURLが発行されますので、URLをクリックするか、[次へ]ボタンをクリックしてください。

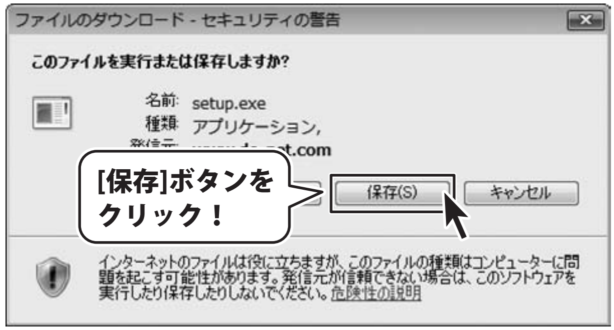
ソフトウェアをダウンロードするページが表示されますので、[Download]ボタンをクリックしてください。

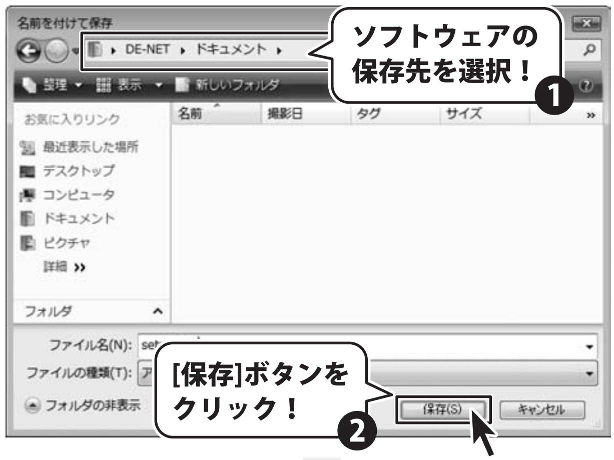


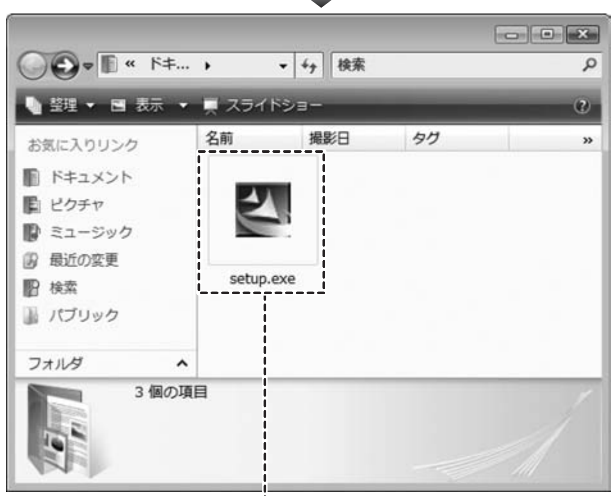


ソフトウェアをダウンロードする

ファイルのダウンロード画面が表示されましたら、[保存]ボタンをクリックします。
名前を付けて保存画面が表示されますので、
ソフトウェアの保存場所を選択して、
[保存]ボタンをクリックしてください。
ソフトウェアの保存が確認できましたら
必要に応じてインストールを行ってください。







ソフトウェアが保存されました

ユーザーサポート

お問い合わせについて

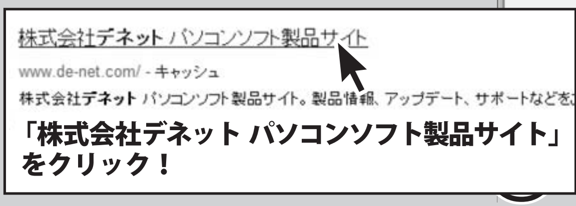
FAX及びe-mailでのお問い合わせの際には、『ご連絡先を正確に明記』の上、サポートまでお送りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。
お客様よりいただいたお問い合わせに返信できないということがあります。
問い合わせを行っているのにも関わらず、サポートからの返事がない場合、弊社ユーザーサポートまでご連絡が届いていない状態や、返信先が不明(正しくない)場合が考えられますので、宛先(FAX・メール)の確認をお願いいたします。

弊社ホームページ上からサポート宛にメールを送ることも可能です。

[弊社ホームページ]
http://www.de-net.com/

[問い合わせページ]
http://www.de-net.com/contact/





直接メール・FAX・お電話等でご連絡の場合、下記項目を事前にご確認の上お伝えください。

○ソフトのタイトル・バージョン
　例：「ほぼ全自動 作曲支太郎」
○ソフトのシリアルナンバー
　※表紙に貼付されています。
○ソフトをお使いになられているパソコンの環境
　・ＯＳ及びバージョン
　　例：Windows 7、Service Pack 2、64bit
　　　　Windows Updateでの最終更新日○○年○月○日
　・ブラウザーのバージョン
　　例：Internet Explorer 8
　・パソコンの仕様
　　例：NEC　XXXX-XXX-XX / Pentium Ⅲ 1GHz /
　　　　HDD 500GB / Memory 2GB

○お問い合わせ内容
　例：～の操作を行ったら、～というメッセージがでて
　　　ソフトが動かなくなった
　　　□□□部分の操作について教えてほしい…etc
○お名前
○ご連絡先(正確にお願いいたします)
　メールアドレス等送る前に再確認をお願いいたします。

※お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、
　弊社からのメールが受信されない場合があります。

無料ユーザーサポート

E-mail：ask99pc@de-net.com
Tel：048-640-1002
Fax：048-640-1011

サポート時間 ： 10：00～17：30 （土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。
※パソコン本体の操作方法やその他専門知識に関するお問い合わせにはお答えできない場合があります。
※お客様のご都合による返品はできません。
※お問い合わせ内容によっては返答までにお時間をいただくこともあります。